

# 立地適正化計画

## 2. 防災指針（案）

### (1) 防災指針について

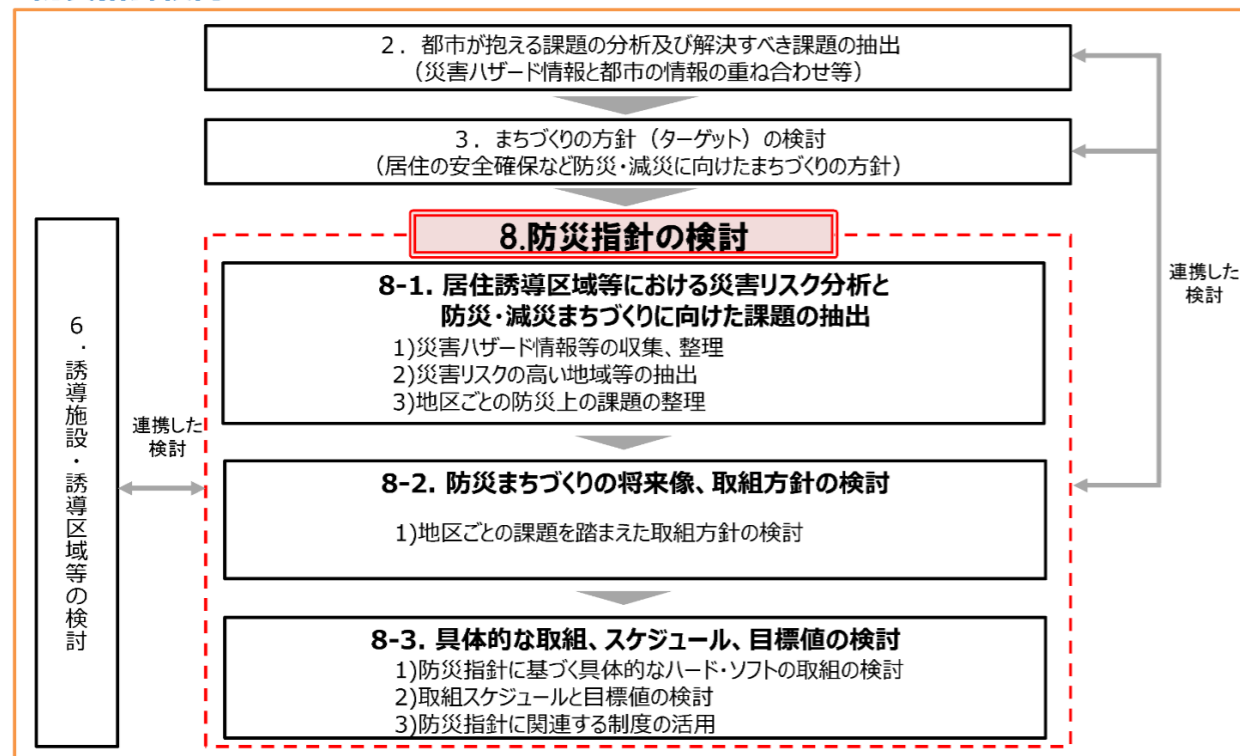
防災指針は、居住や都市機能の誘導を図る上で必要となる都市の防災に関する機能の確保を図るための指針であり、当該指針に基づく具体的な取組と併せて立地適正化計画に定めるものです。

様々な災害のうち、洪水、雨水出水等による浸水エリアは広範囲に及び、既に市街地が形成されていることも多いことから、この範囲を居住誘導区域から全て除くことは現実的に困難であることも想定され、また、地震については、影響範囲や程度を即地的に定め、居住誘導区域から除外を行うことに限界もあります。このため、居住誘導区域における災害リスクをできる限り回避あるいは低減させるため、必要な防災・減災対策を計画的に実施していくことが求められます。

このため、立地適正化計画においては、災害リスクを踏まえた課題を抽出し、都市の防災に関する機能の確保のため、防災指針を定めるとともに、この方針に基づく具体的な取り組みを位置付けることとされています。（都市計画運用指針）

本計画の防災指針についても、上記の考え方を踏まえるとともに、国土交通省の「立地適正化計画作成の手引き」（令和4年4月改訂）に示された防災指針検討のフローを基本に整理します。

防災指針検討のフロー



（資料：国土交通省「立地適正化計画作成の手引き」（R4））

図 防災指針検討のフロー

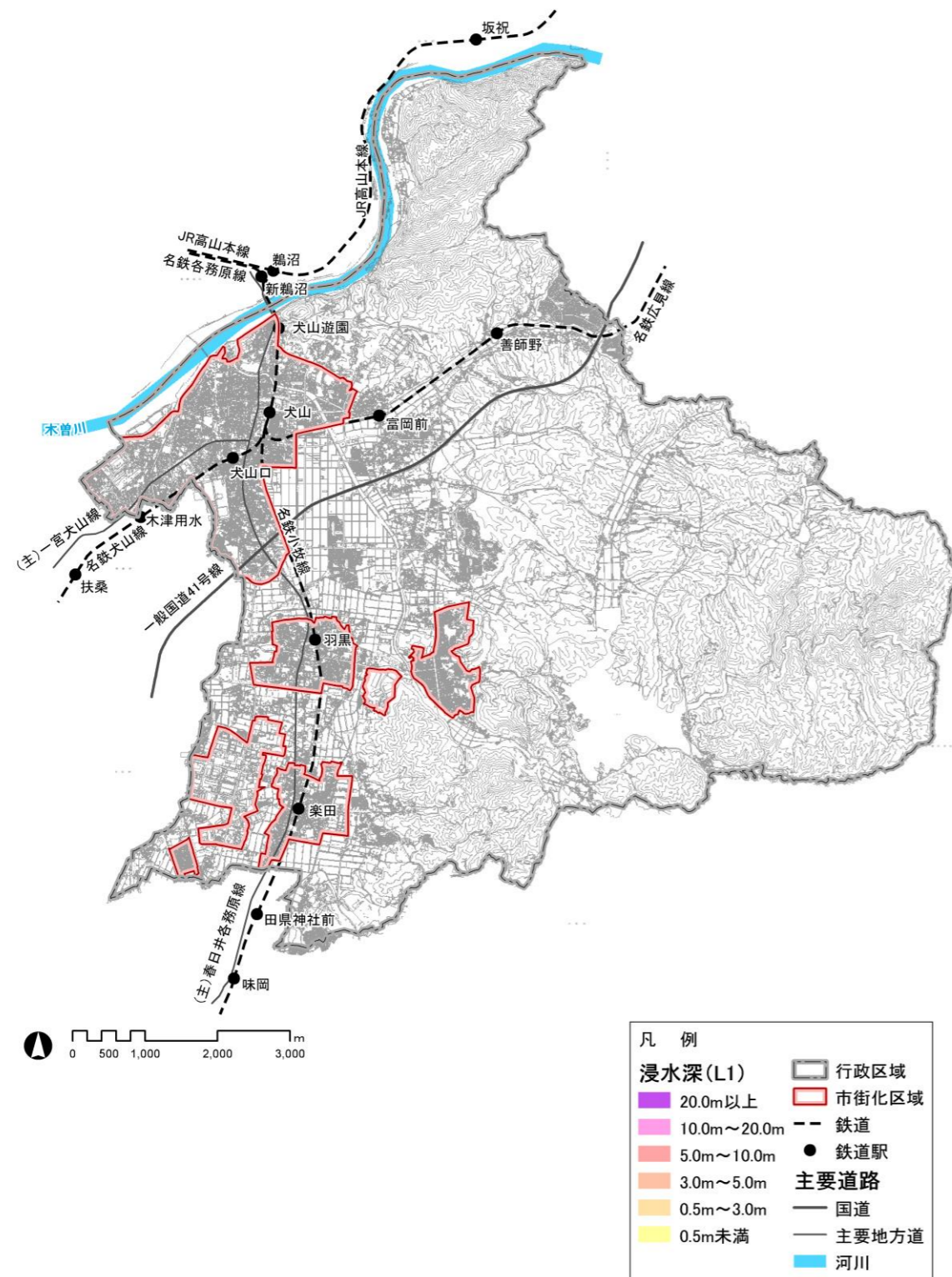
### (2) 災害ハザード情報の収集、整理

本市において想定されている災害ハザードを以下に整理します。

表 災害ハザード情報の整理

災害種別		災害ハザード情報	規模等		
水害	洪水	木曾川	浸水想定区域(浸水深)	計画規模(L1)	1/200
			浸水想定区域(浸水深)	想定最大規模(L2)	1/1,000
		家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食・氾濫流)	浸水継続時間		
		浸水継続時間			
	郷瀬川 ・新郷瀬川	浸水予想図(浸水深)	計画規模(L1)	1/50	
		浸水予想図(浸水深)	想定最大規模(L2)	1/1,000	
		家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食・氾濫流)			浸水継続時間
		浸水継続時間			
	新川流域	浸水予想図(浸水深)	計画規模(L1)	1/30	
		浸水予想図(浸水深)	想定最大規模(L2)	1/1,000	
		家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)			浸水継続時間
		浸水継続時間			
内水 (参考)	浸水想定区域(浸水深)	100年確率降雨			
	浸水想定区域(浸水深)	200年確率降雨			
	浸水想定区域(浸水深)	想定最大規模			
ため池 (参考)	入鹿池	浸水想定区域(浸水深)	ため池が満水状態の時に、堤体が破堤し、貯水量の全量が短時間に流出すると想定		
土砂災害	土砂災害特別警戒区域				
	土砂災害警戒区域				
	急傾斜地崩壊危険区域				
	大規模盛土造成地(参考)				
地震 (参考)	震度分布		過去地震最大モデル		
	液状化危険度		過去地震最大モデル		

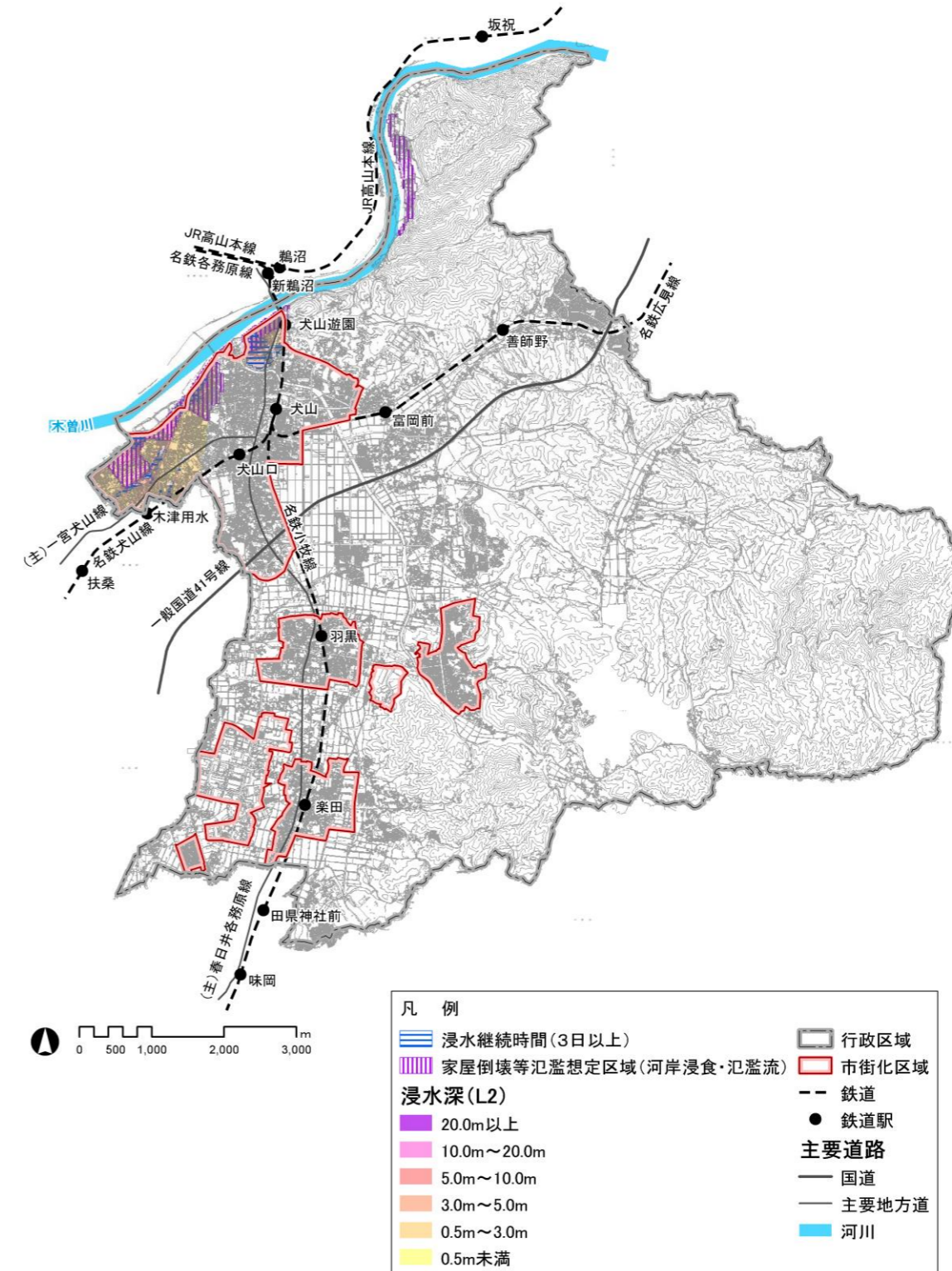
■洪水（木曾川）計画規模（L1）



(資料：国土交通省資料)

図 洪水（木曾川）計画規模（L1）による浸水想定区域

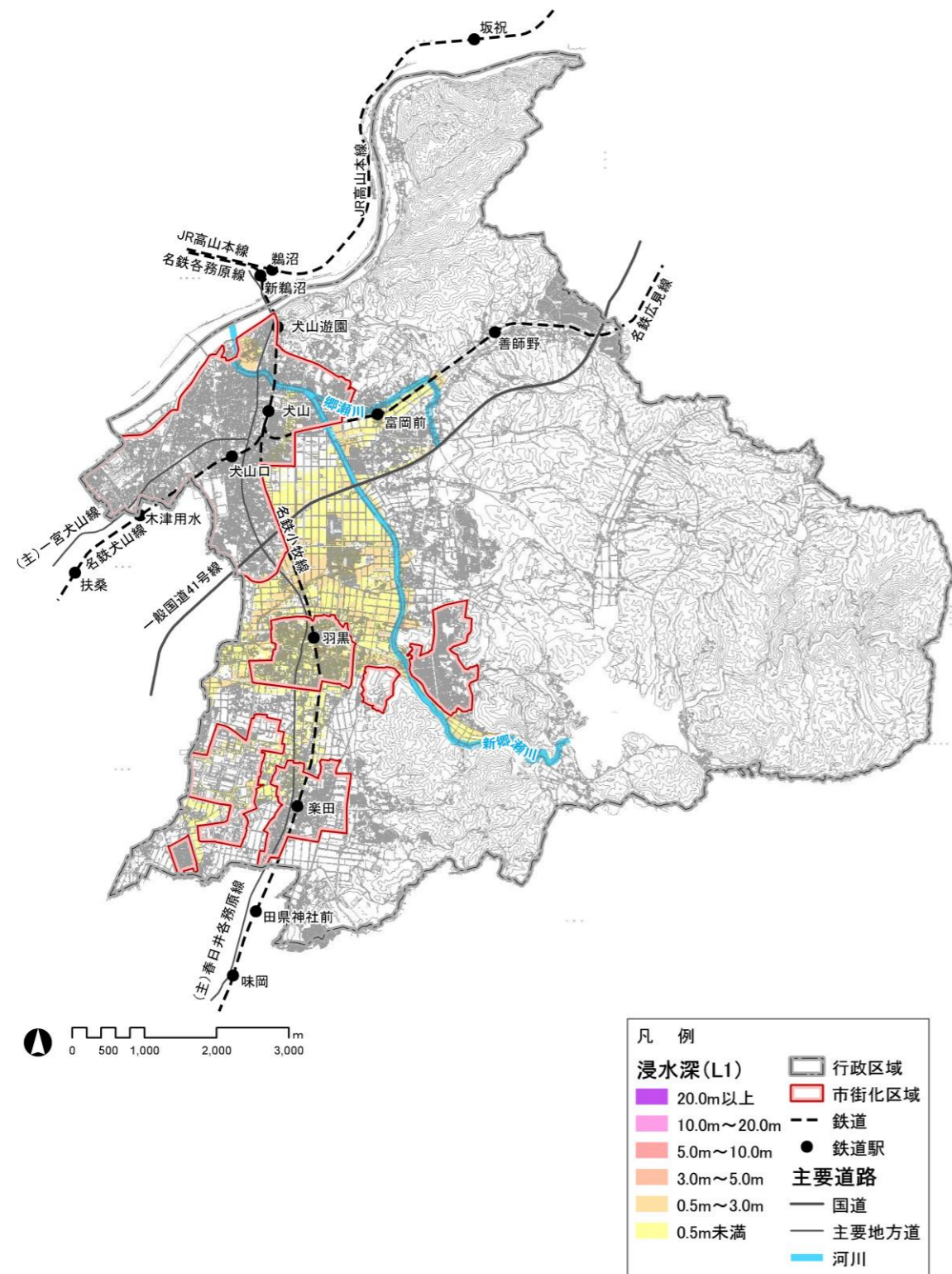
■洪水（木曾川）想定最大規模（L2）



(資料：国土交通省資料)

図 洪水（木曾川）想定最大規模（L2）による浸水想定区域

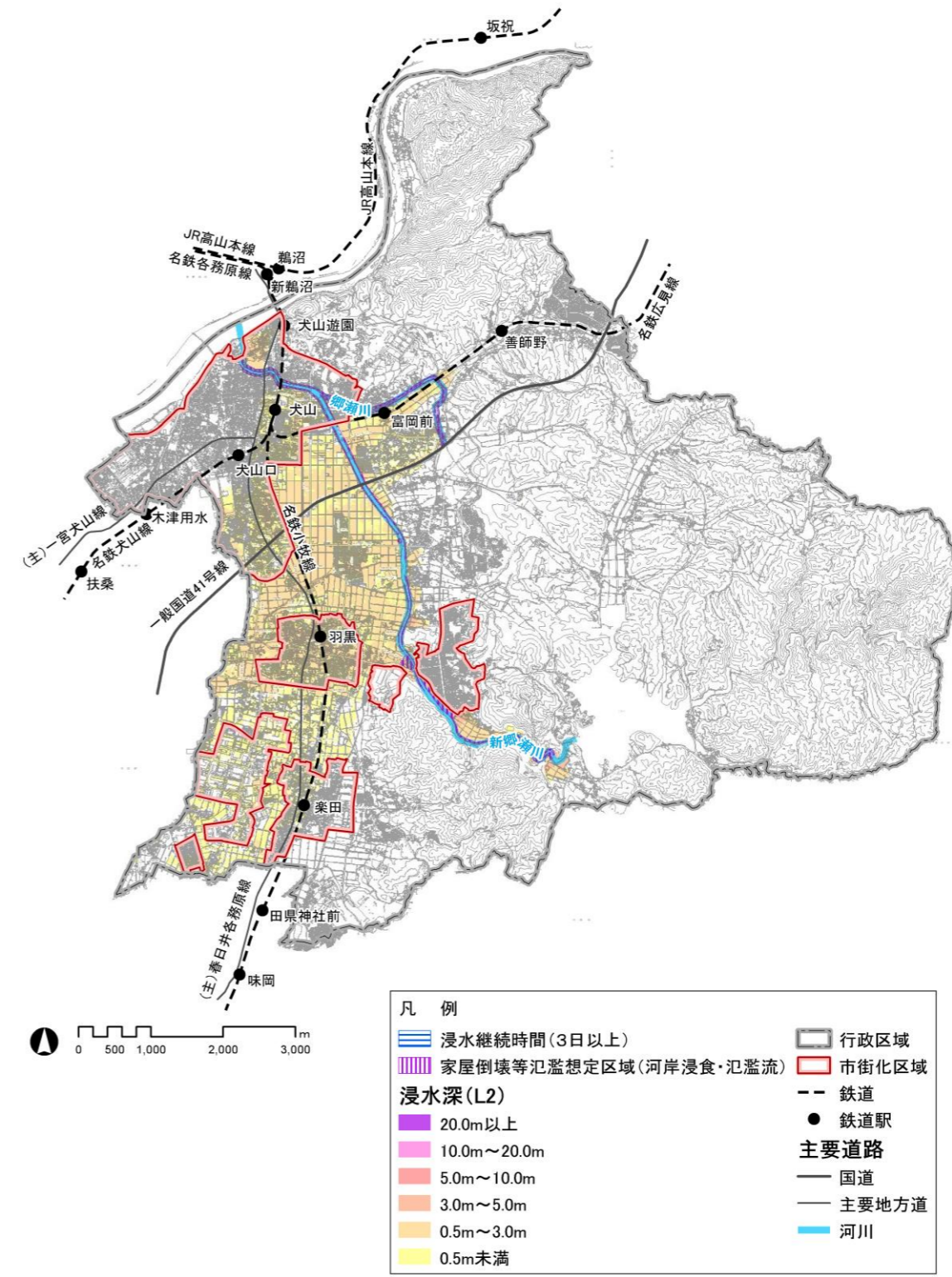
■洪水（郷瀬川・新郷瀬川）計画規模（L1）



(資料：愛知県資料)

図 洪水（郷瀬川・新郷瀬川）計画規模（L1）による浸水想定区域

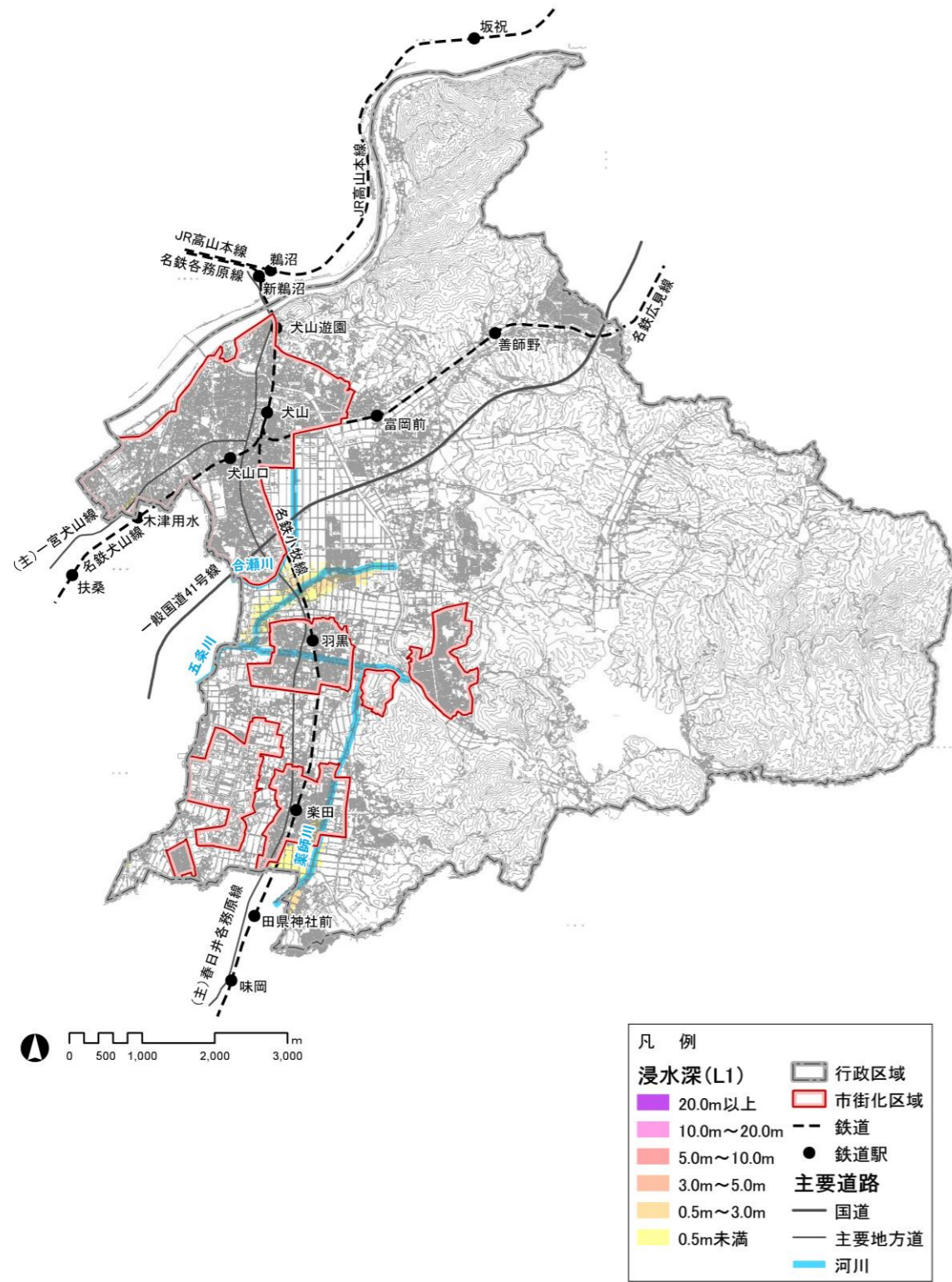
■洪水（郷瀬川・新郷瀬川）想定最大規模（L2）



(資料：愛知県資料)

図 洪水（郷瀬川・新郷瀬川）想定最大規模（L2）による浸水想定区域

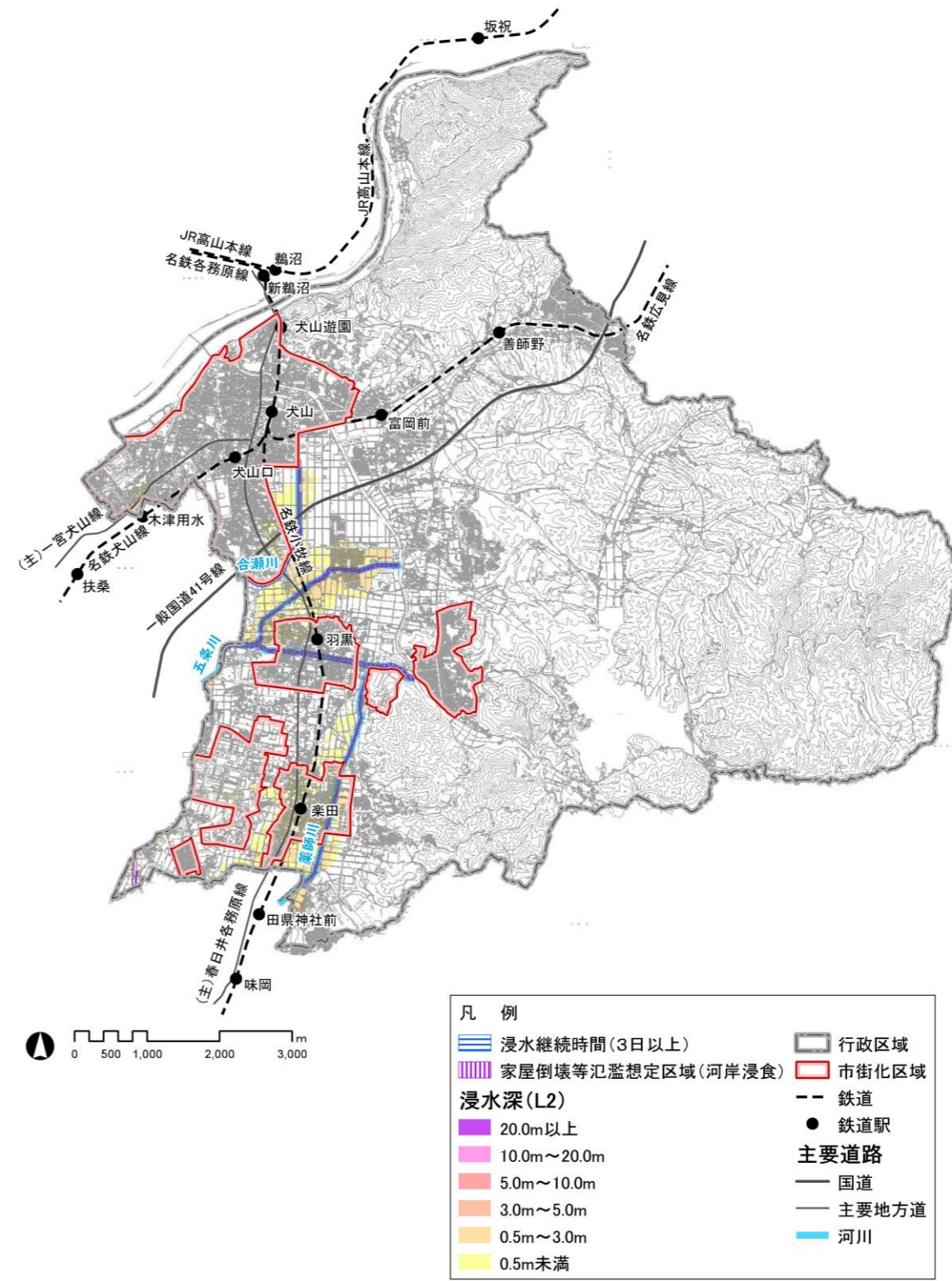
■洪水（新川流域）計画規模（L1）



(資料：愛知県資料)

図 洪水（新川流域）計画規模（L1）による浸水想定区域

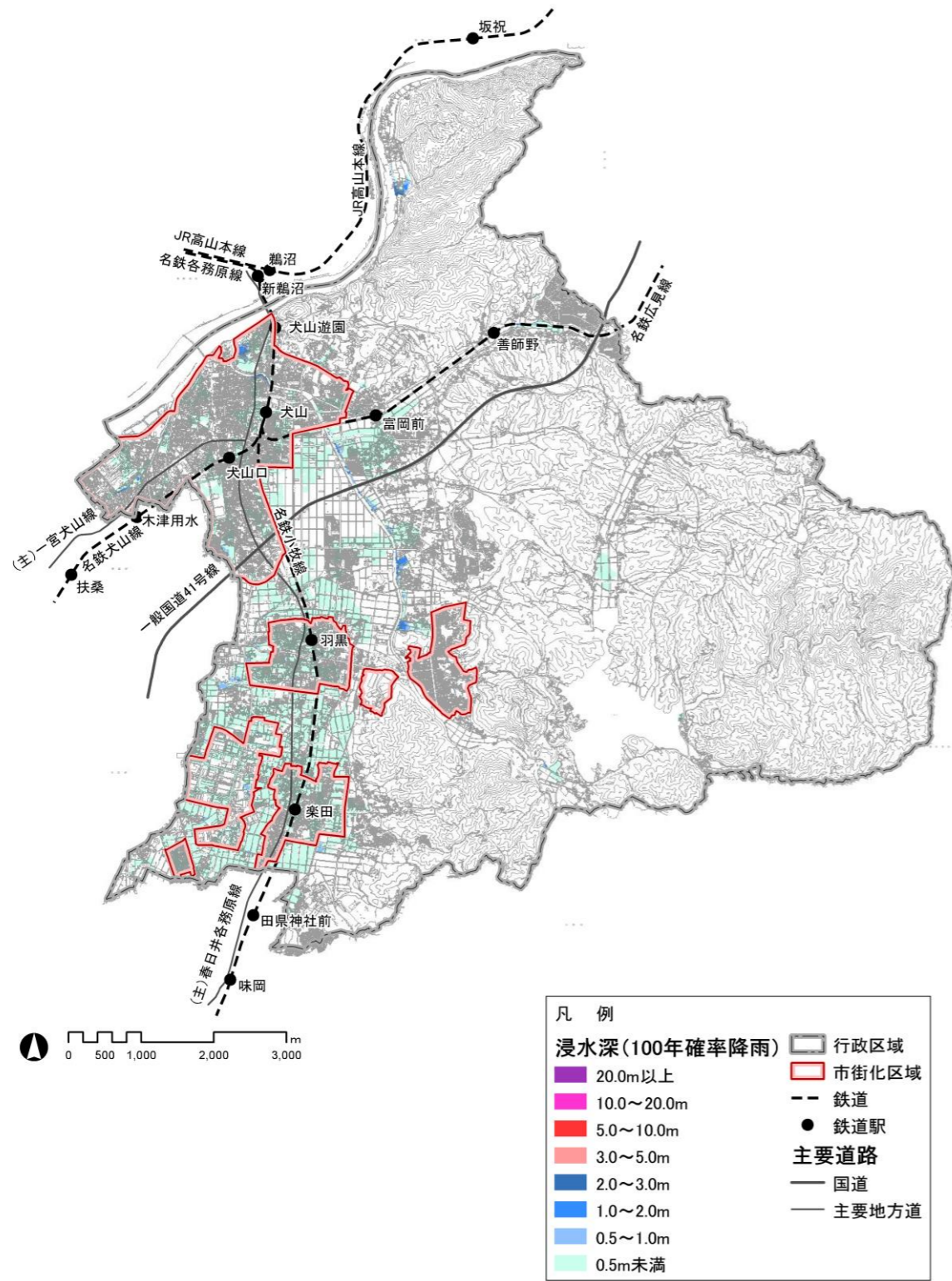
■洪水（新川流域）想定最大規模（L2）



(資料：愛知県資料)

図 洪水（新川流域）想定最大規模（L2）による浸水想定区域

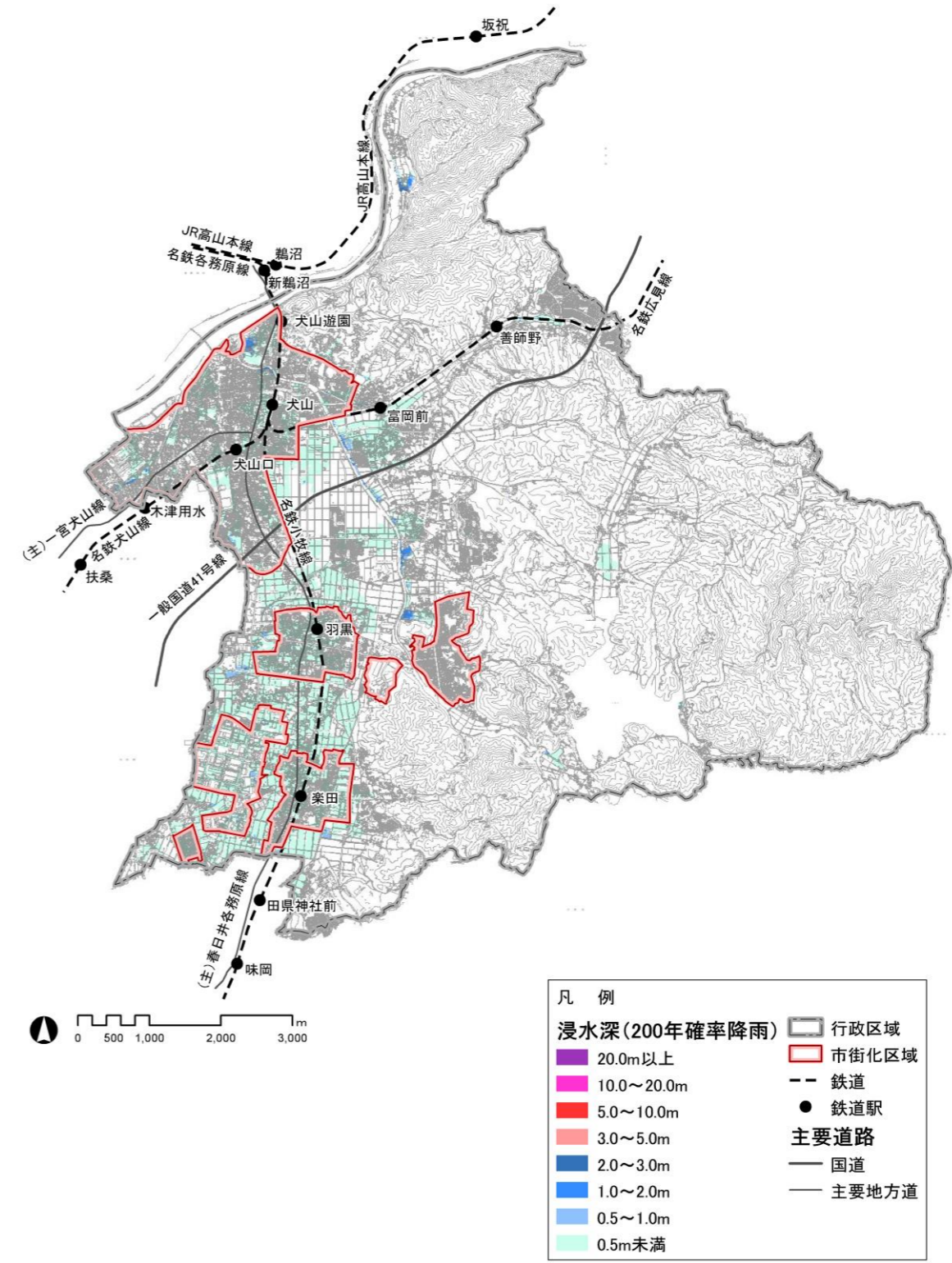
■内水（100年確率降雨）



(資料：市資料)

図 内水（100年確率降雨）による浸水想定区域

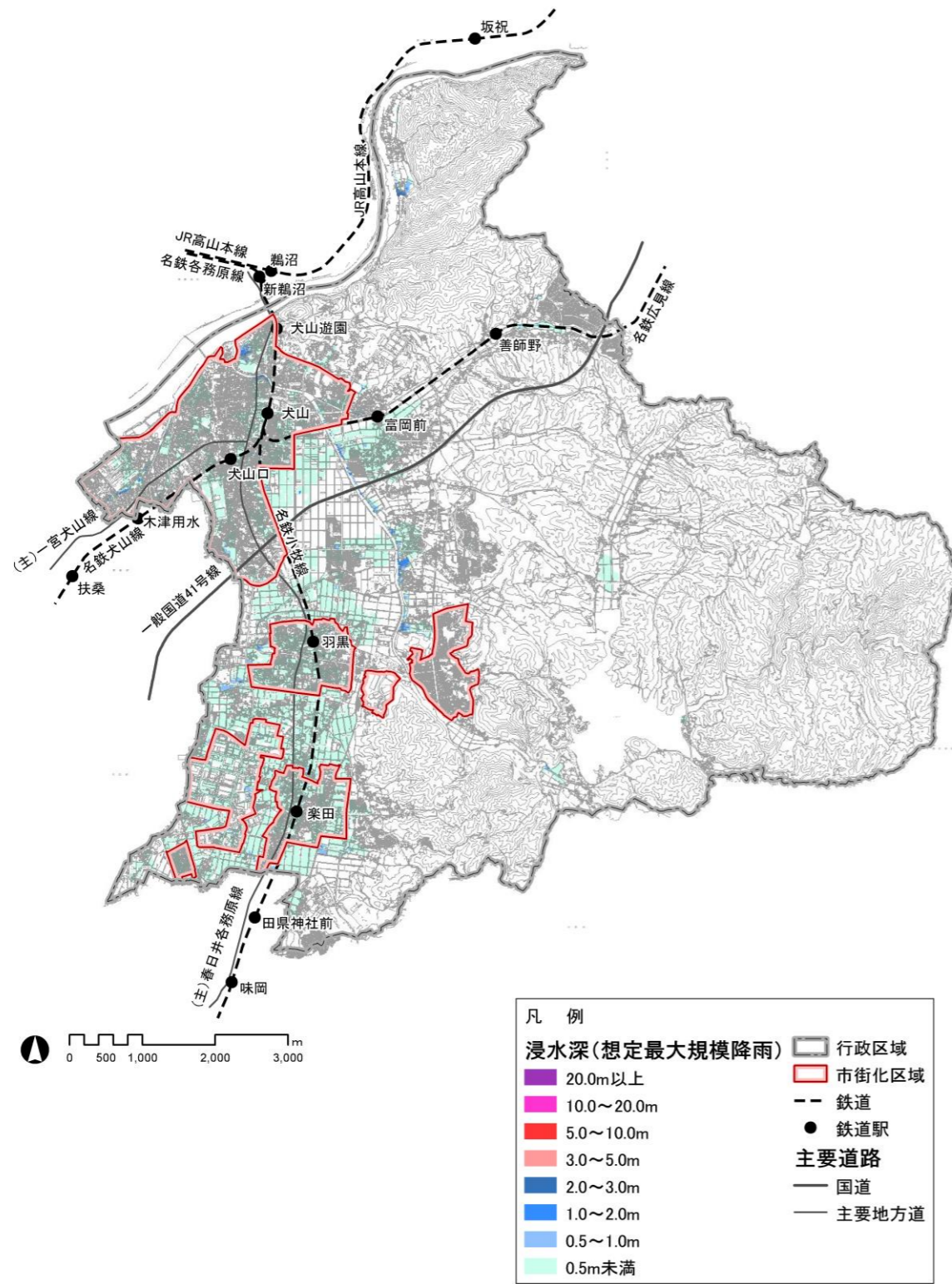
■内水（200年確率降雨）



(資料：市資料)

図 内水（200年確率降雨）による浸水想定区域

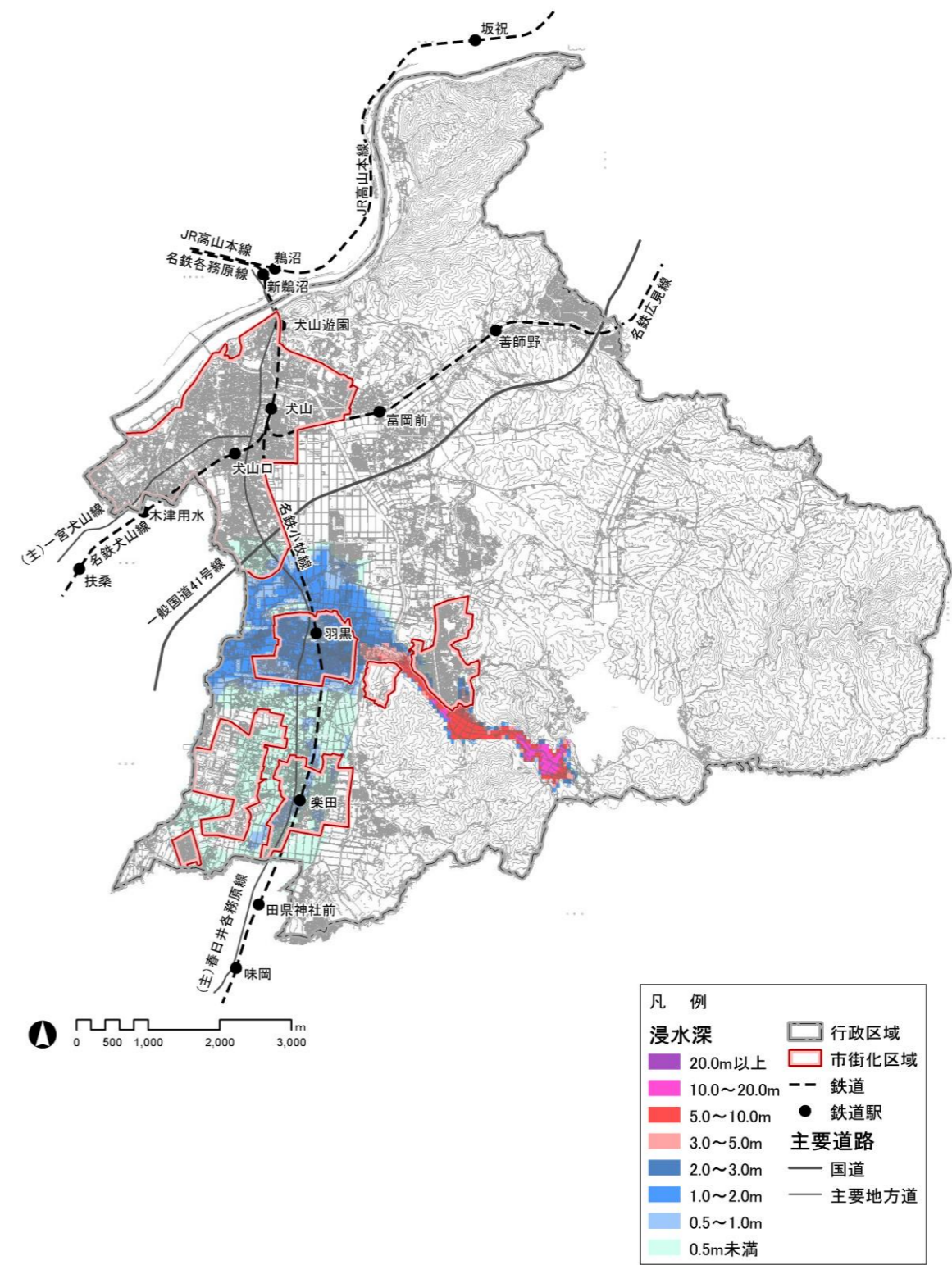
■内水（想定最大規模）



(資料：市資料)

図 内水（想定最大規模）による浸水想定区域

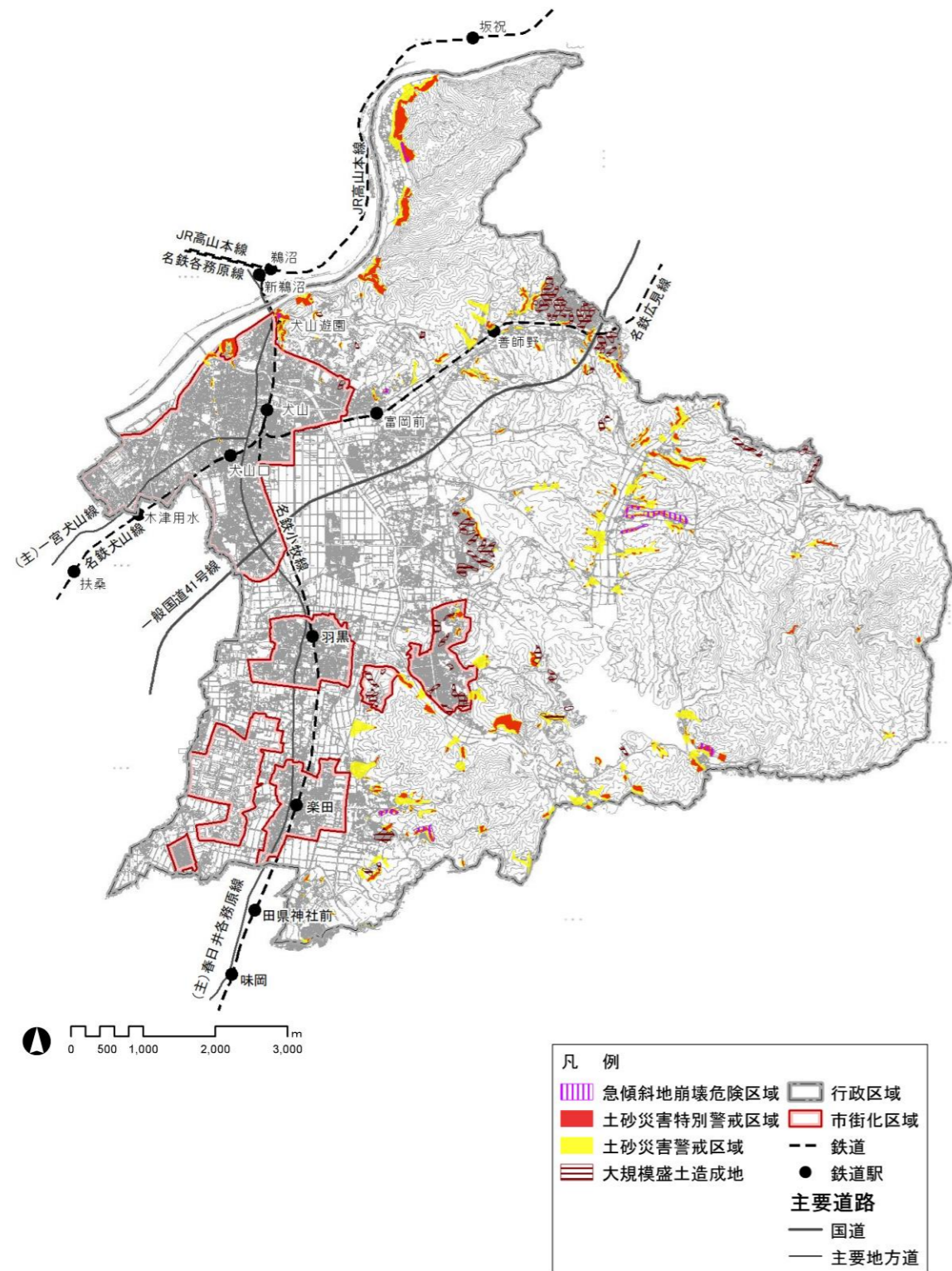
■ため池（入鹿池）



(資料：愛知県資料)

図 ため池（入鹿池）による浸水想定区域

■土砂災害

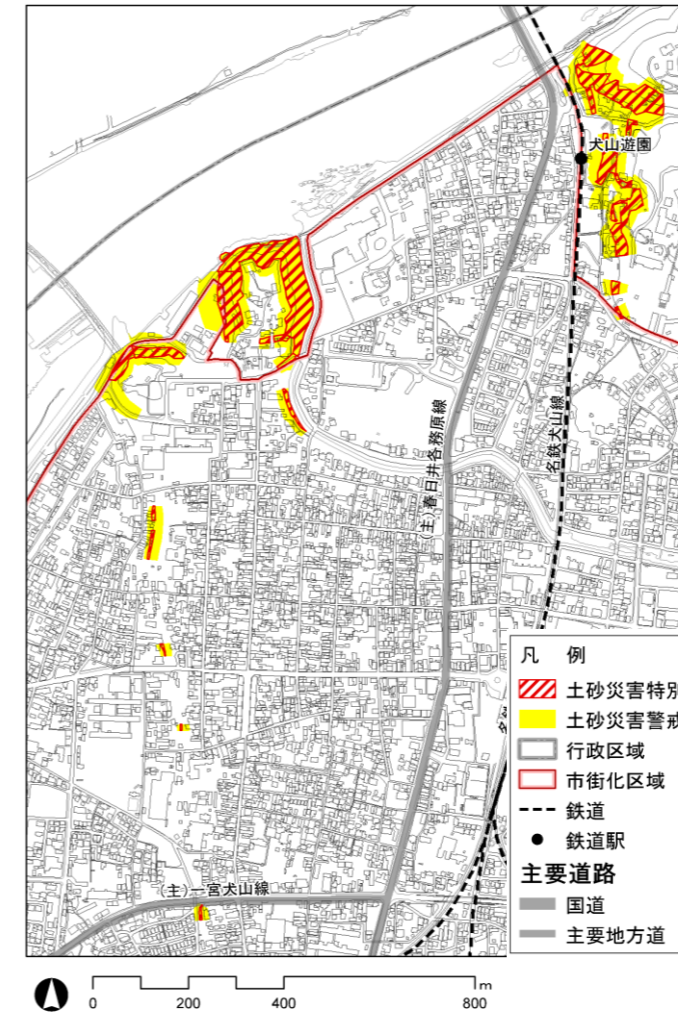


(資料：愛知県オープンデータ)

図 土砂災害により被害を受けるおそれのある区域

市街化区域内の土砂災害警戒区域

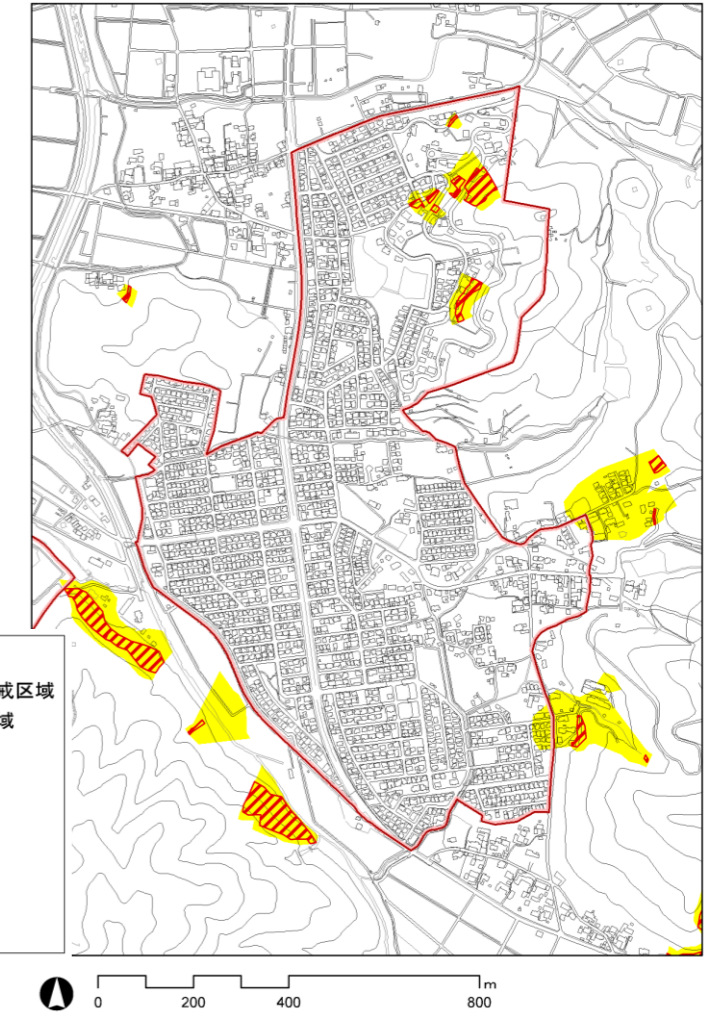
○犬山地区



(資料：愛知県オープンデータ)

図 犬山地区の土砂災害（特別）警戒区域

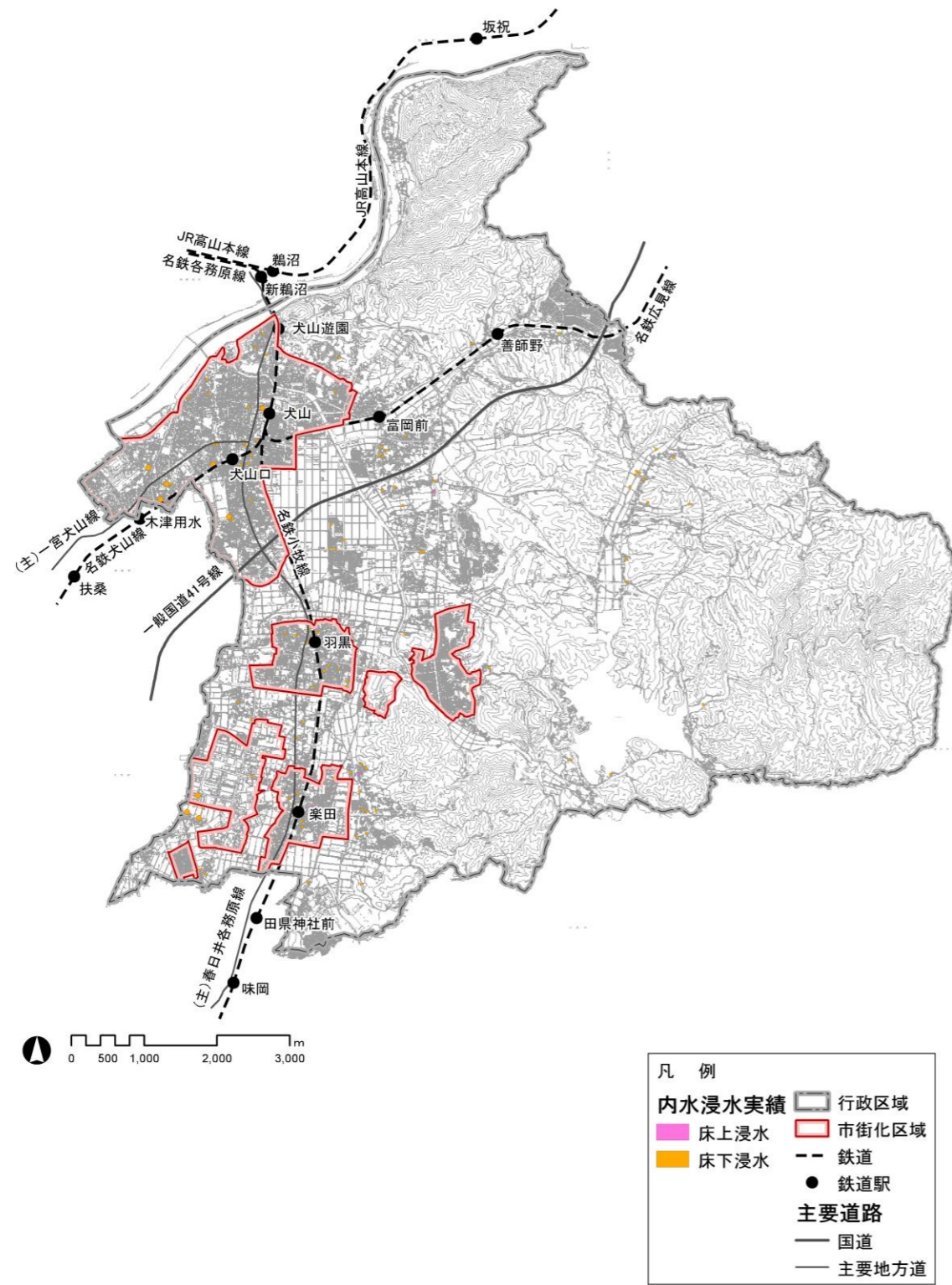
○緑ヶ丘・長者町地区



(資料：愛知県オープンデータ)

図 緑ヶ丘・長者町地区の土砂災害（特別）警戒区域

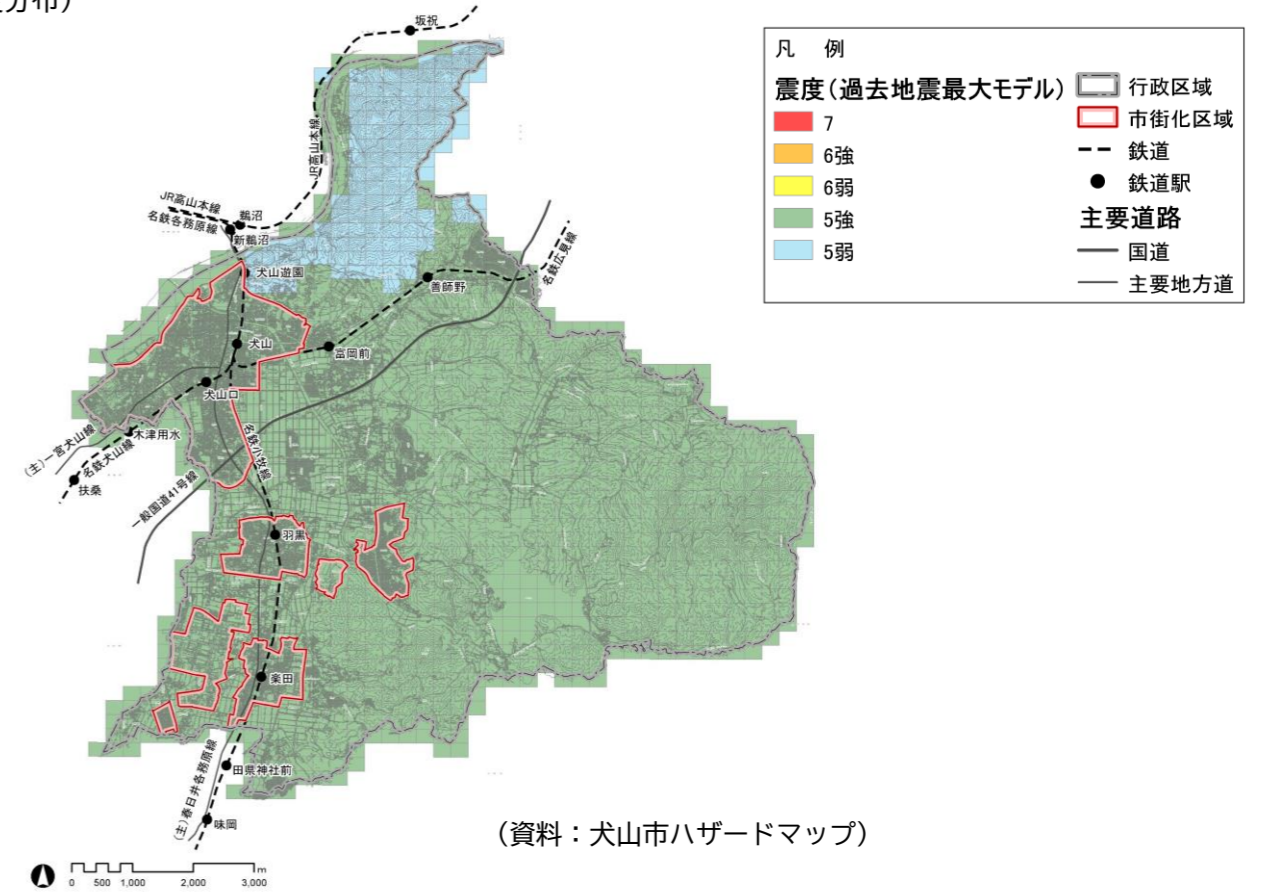
■浸水実績



※各町内から報告のあった浸水箇所（平成29年7月・8月豪雨）  
（資料：犬山市ハザードマップ）

図 浸水実績

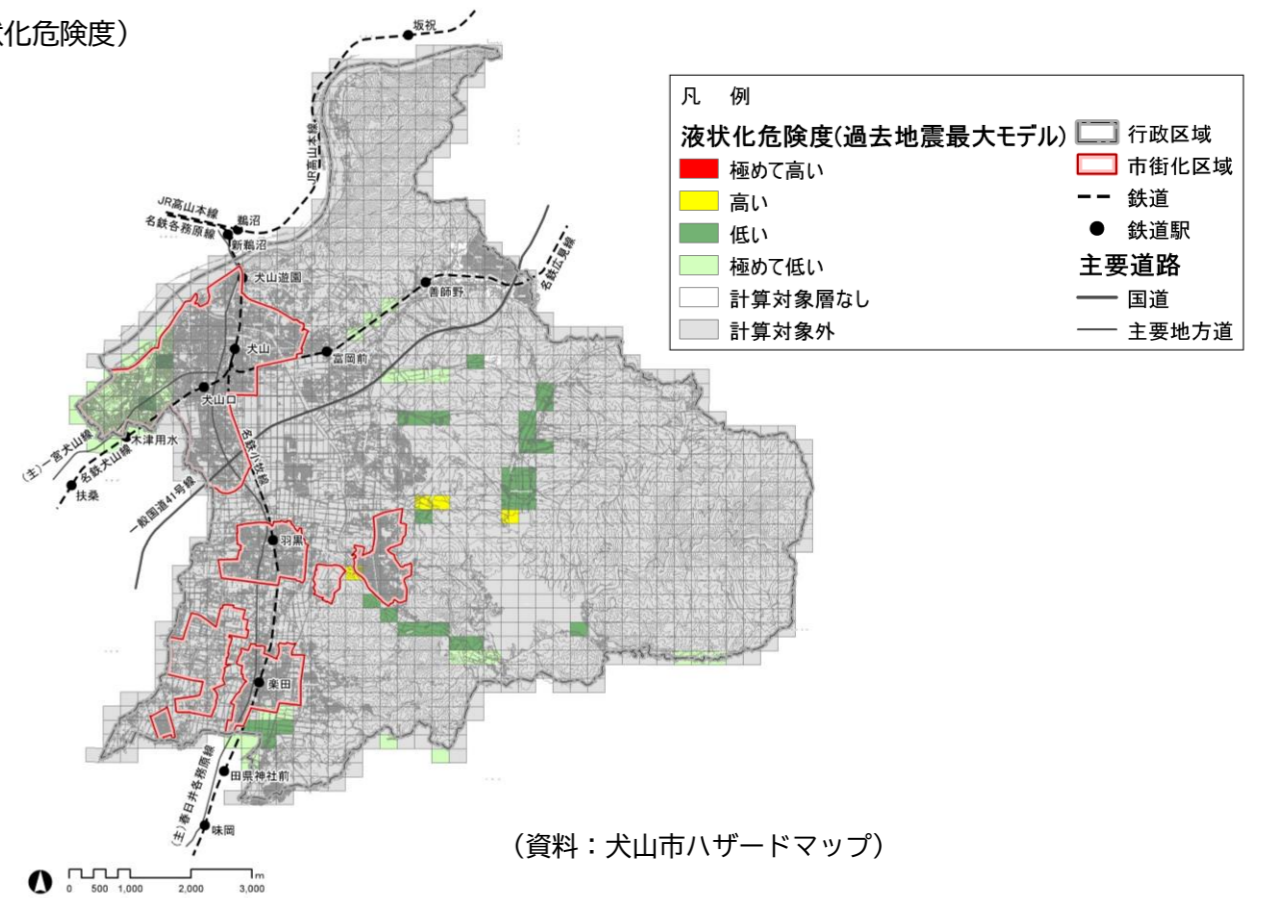
■地震（震度分布）



（資料：犬山市ハザードマップ）

図 地震（過去地震最大モデル）による震度分布

■地震（液状化危険度）



（資料：犬山市ハザードマップ）

図 地震（過去地震最大モデル）による液状化危険度



### (3) 災害ハザードが重複する地域の抽出

災害ハザードと重複する市街化区域及び集落地等の状況を踏まえ、以下の地区を抽出します。なお、本市においては市街化調整区域に住宅団地や集落地が分布し、全体の約 35%の人口が市街化調整区域に居住していることを勘案し、居住誘導区域だけでなく市街化調整区域の主要な住宅団地や集落地も含めて地区を抽出することとします。

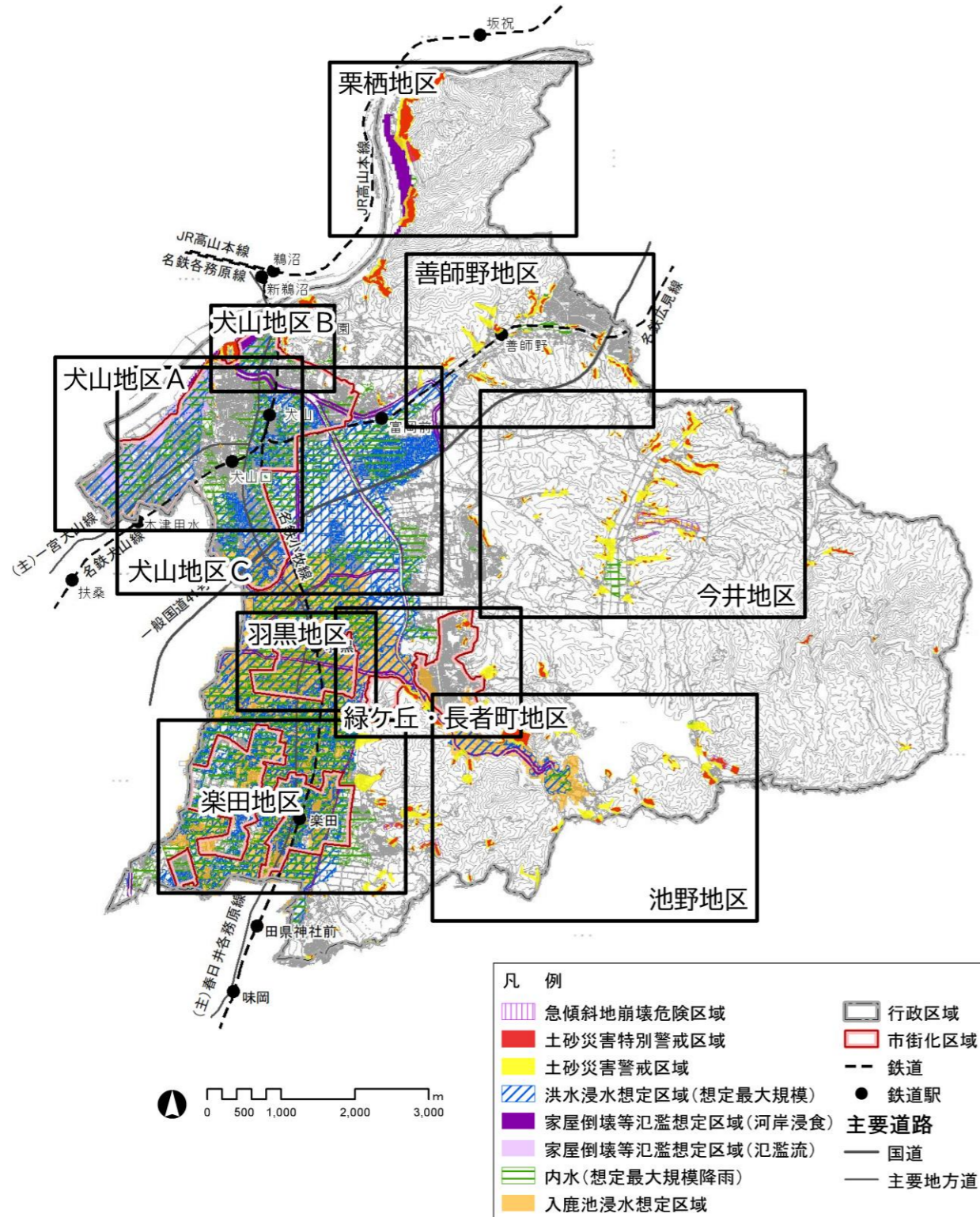
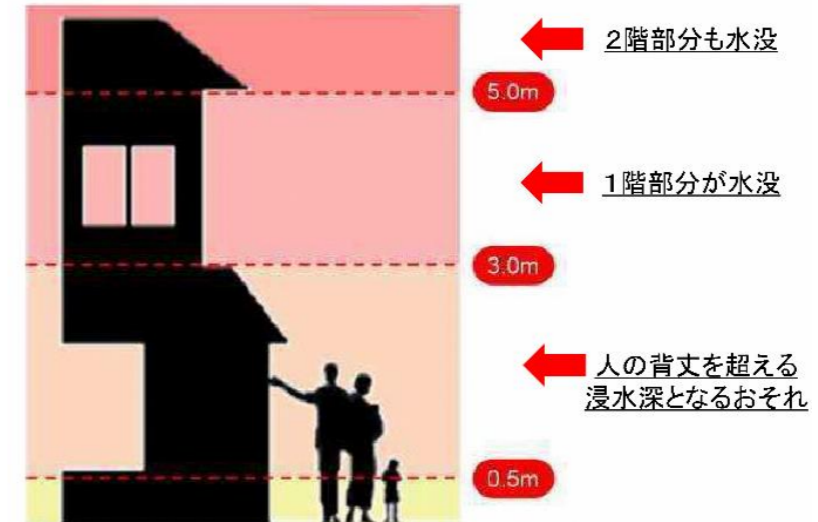


図 災害ハザードが重複する地区

抽出した各地区の浸水想定区域における浸水深の整理は、以下の基準を目安にします。

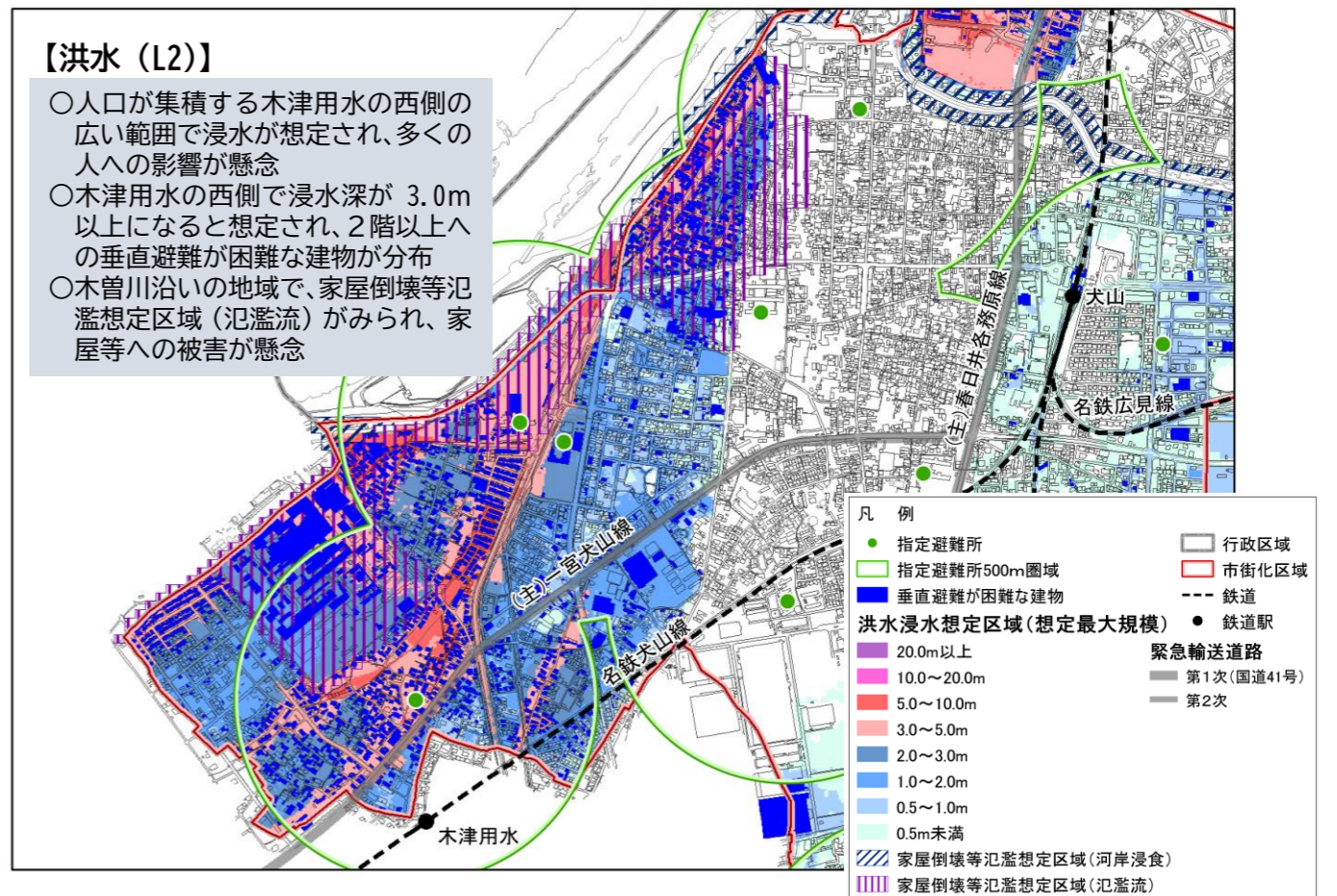
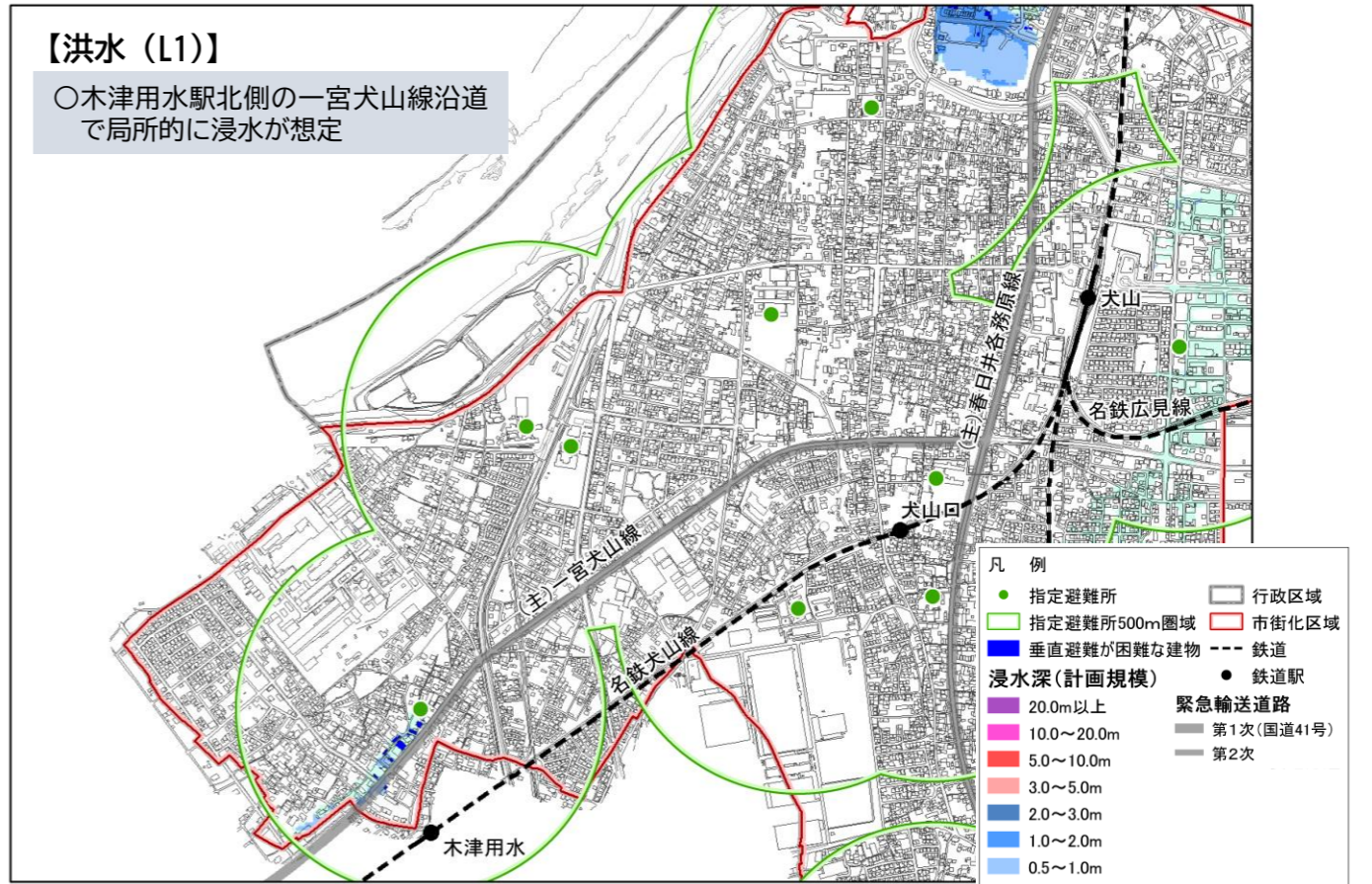
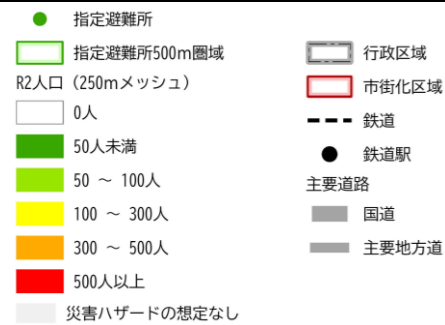
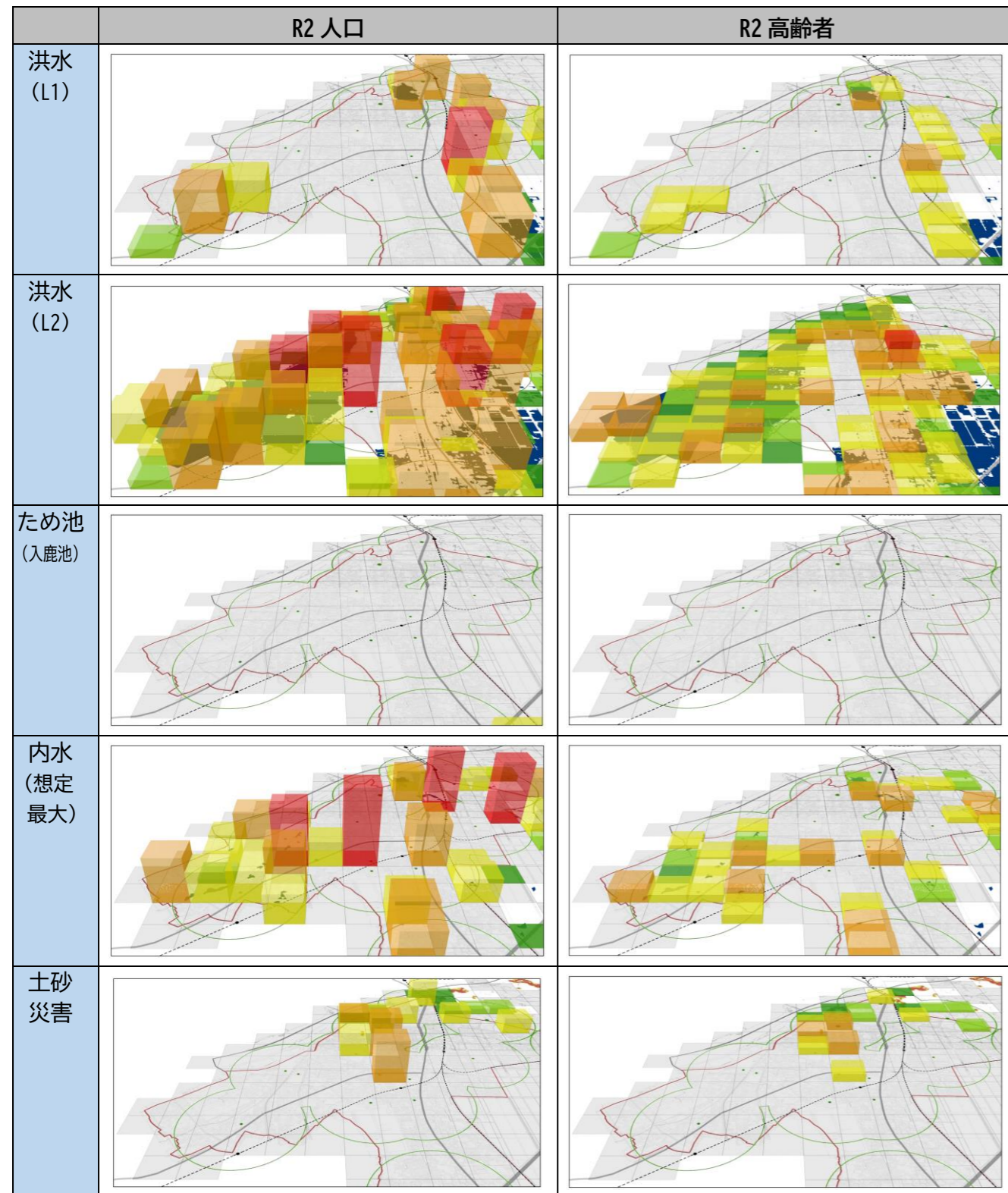
- ・ 浸水深 0.5m以上：1階の床上が浸水する（平屋建ての場合、建物内での避難が困難）
- ・ 浸水深 3.0m以上：2階の床上が浸水深する（2階への垂直避難が困難）



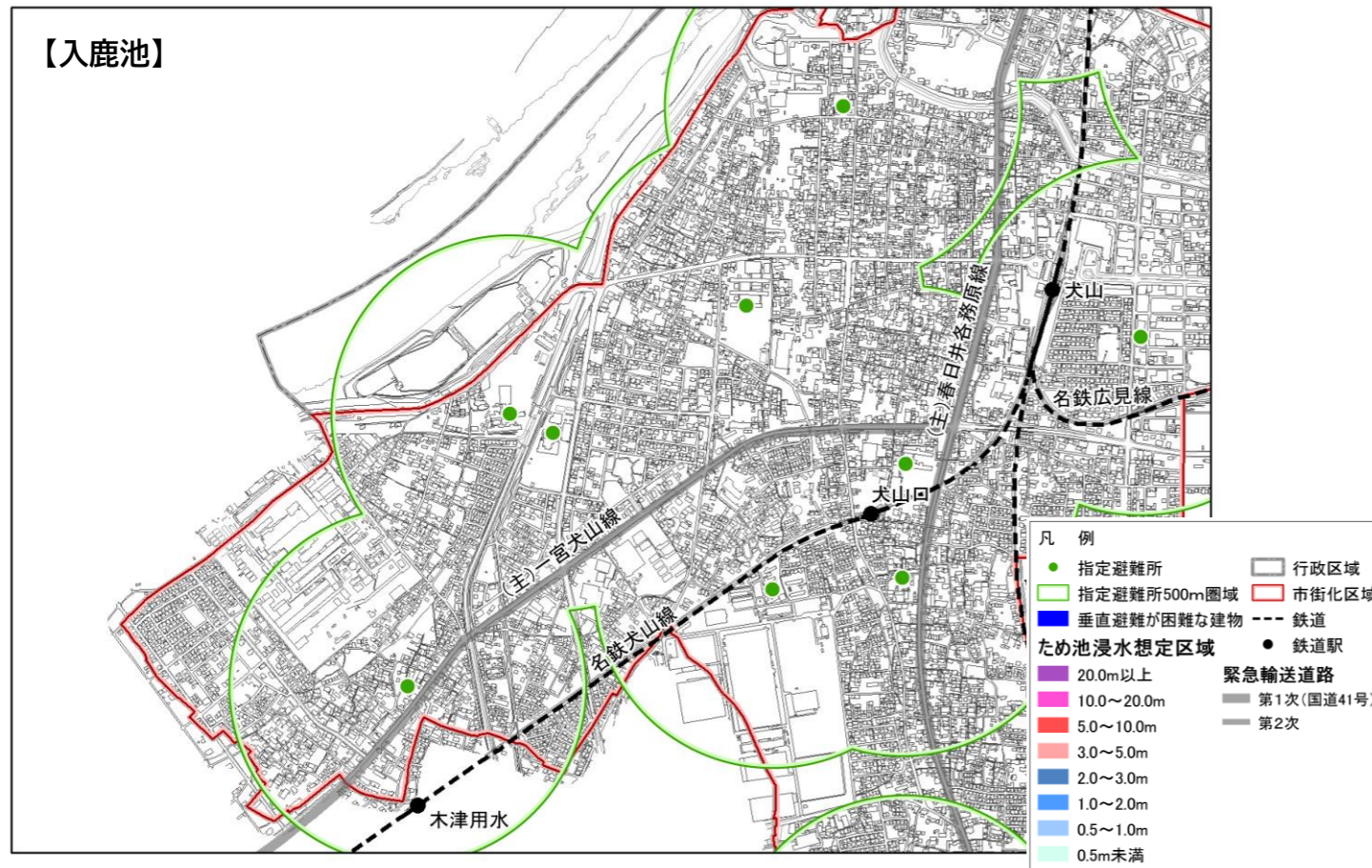
(出典：立地適正化計画作成の手引き (国土交通省))

図 浸水深と人的被害リスクイメージ

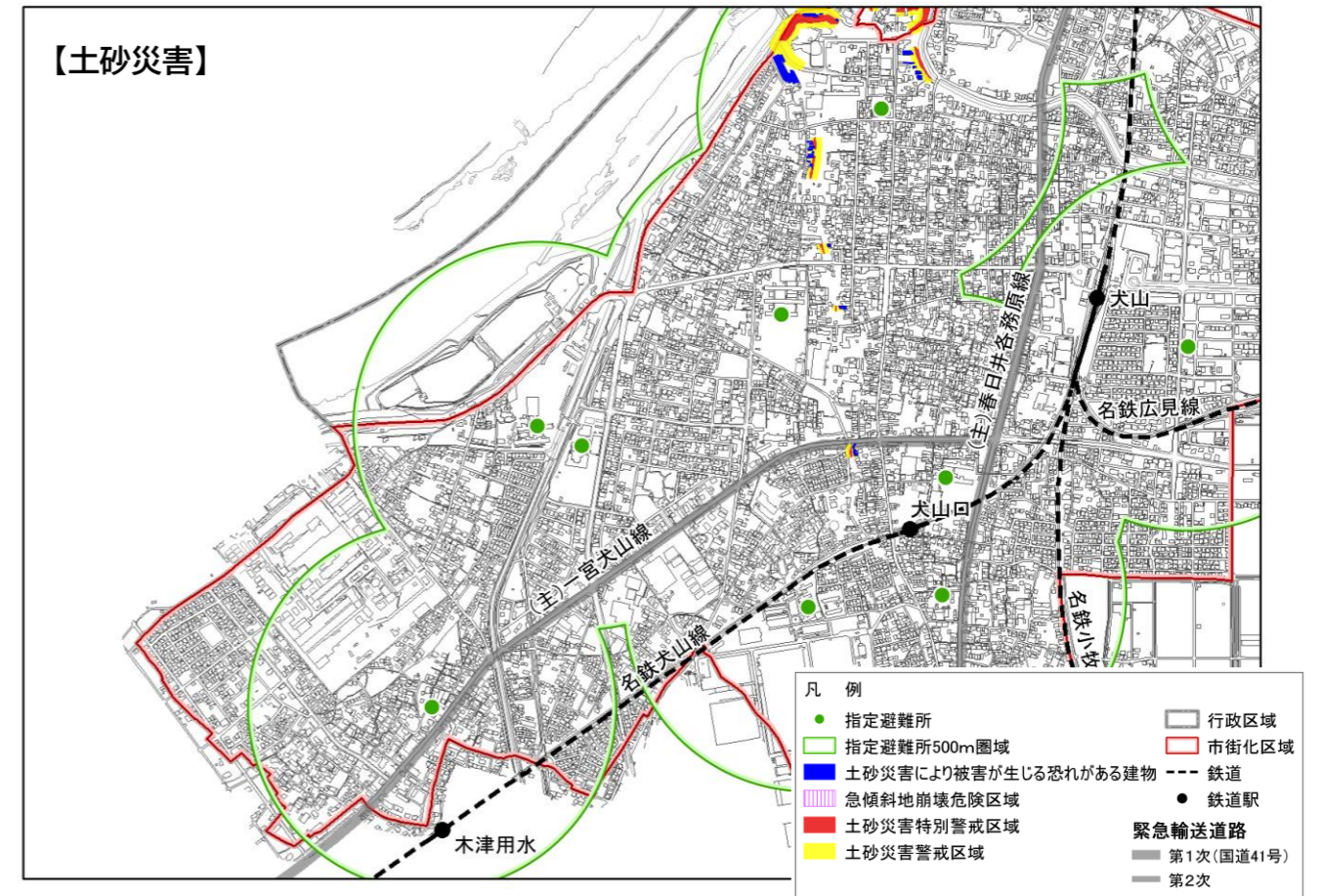
①犬山地区A



### 【入鹿池】

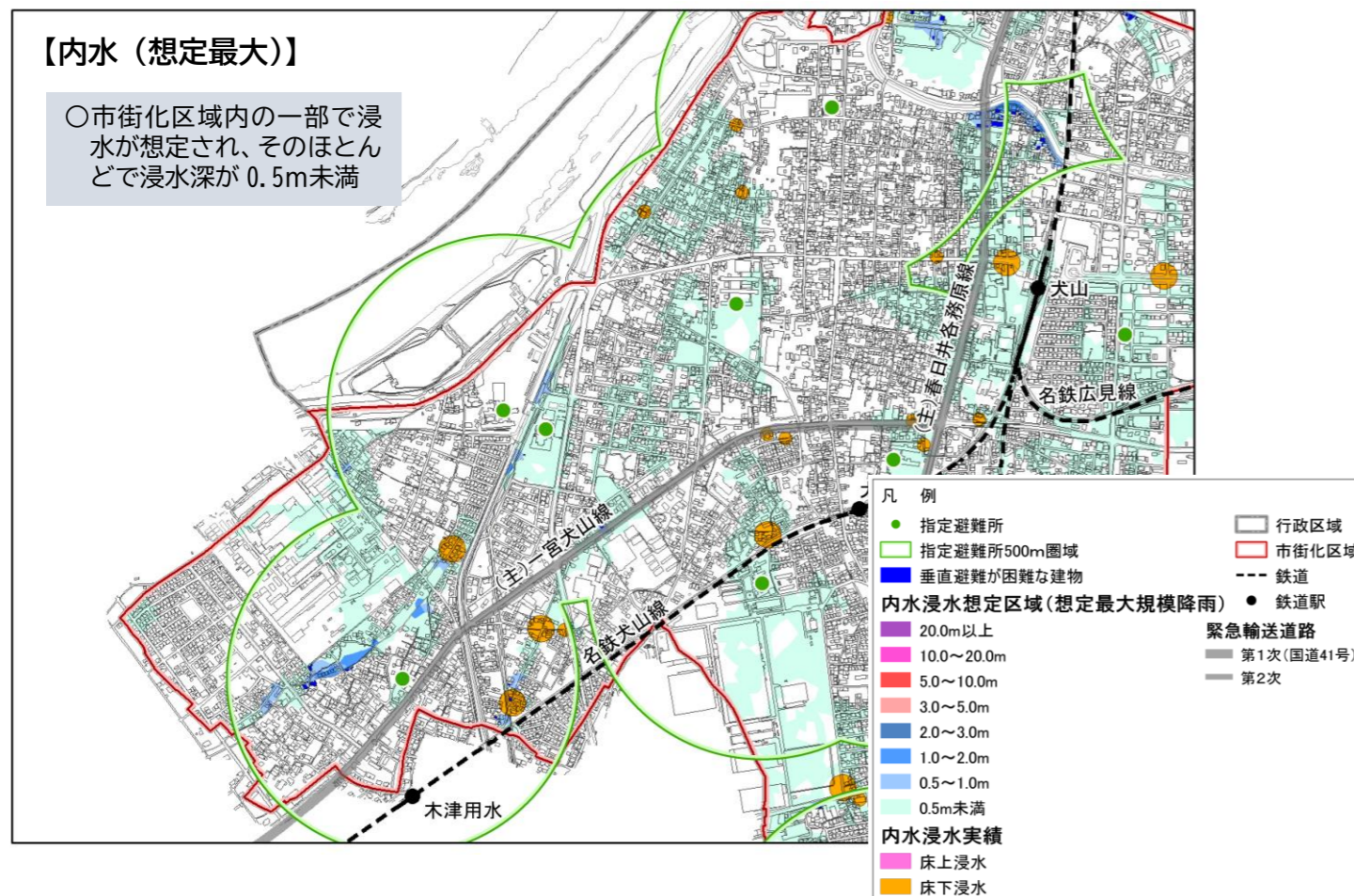


### 【土砂災害】

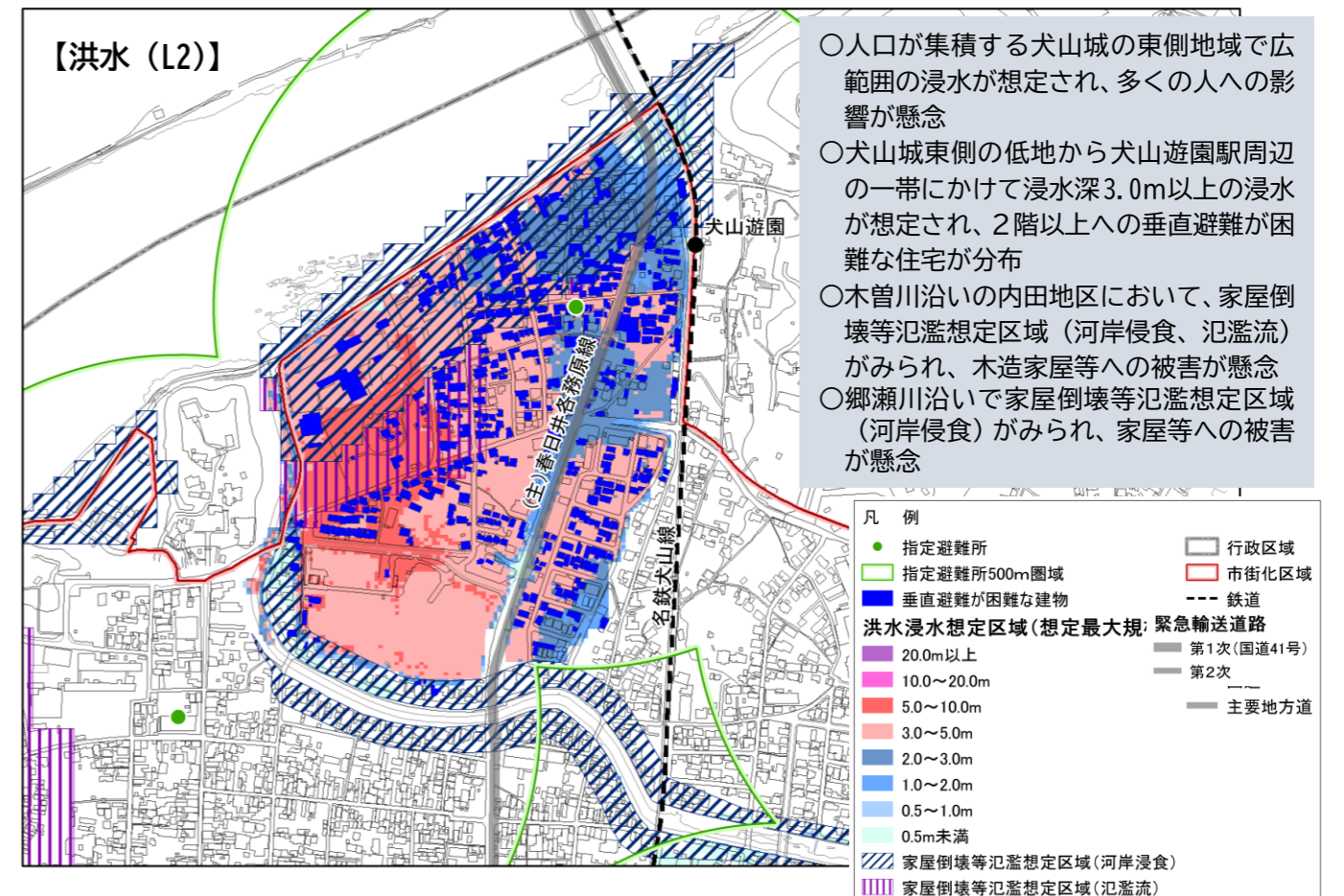
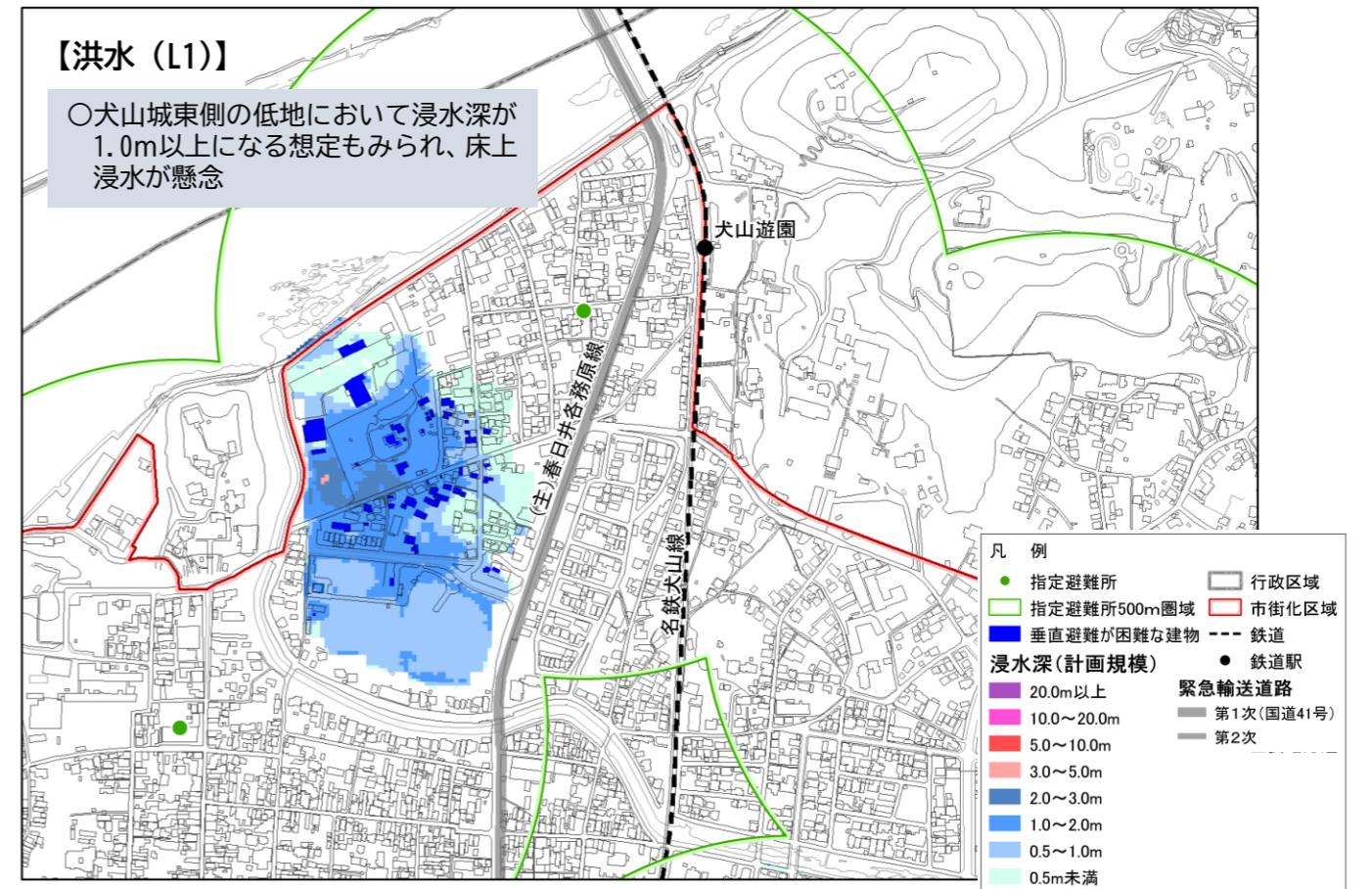
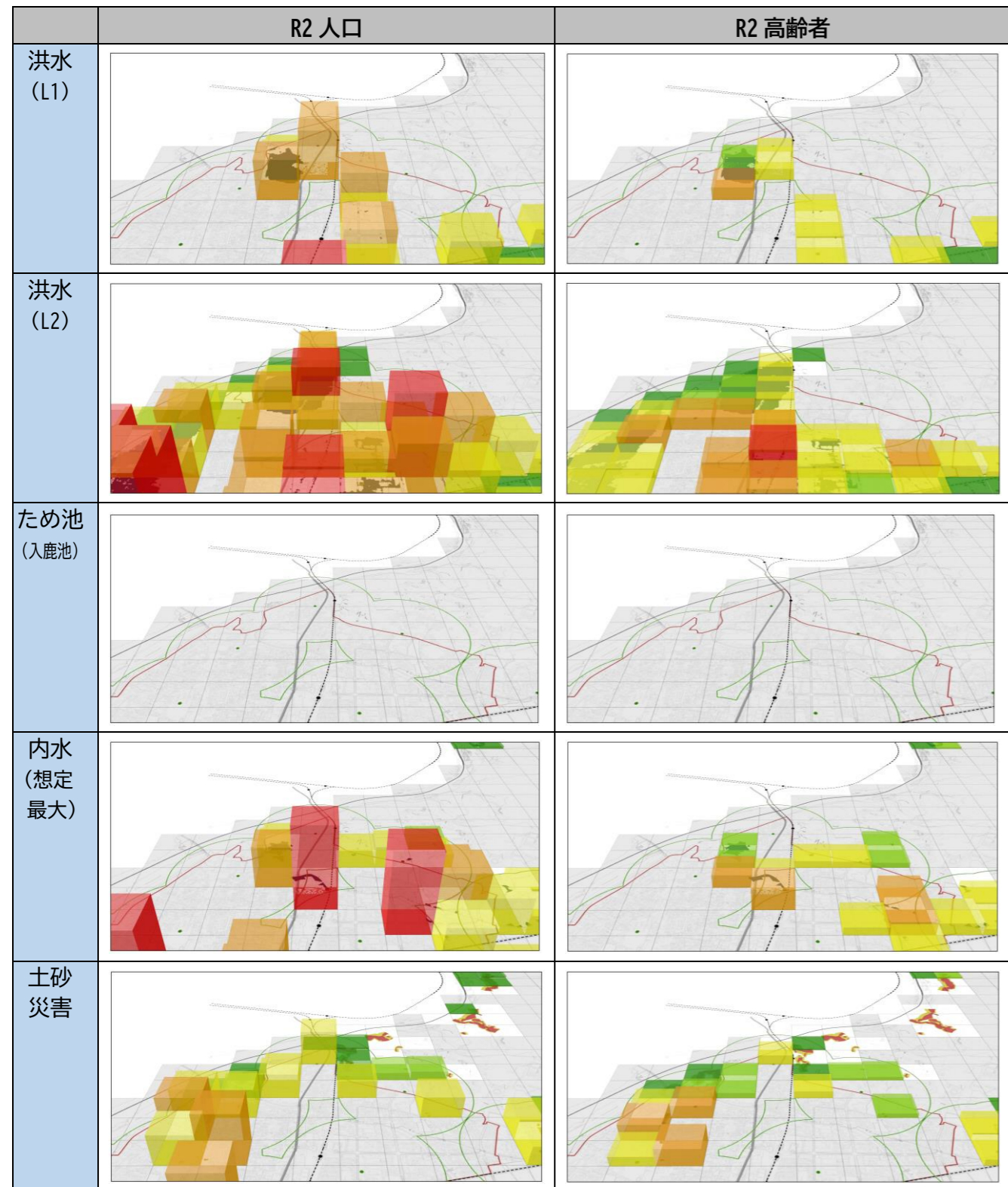


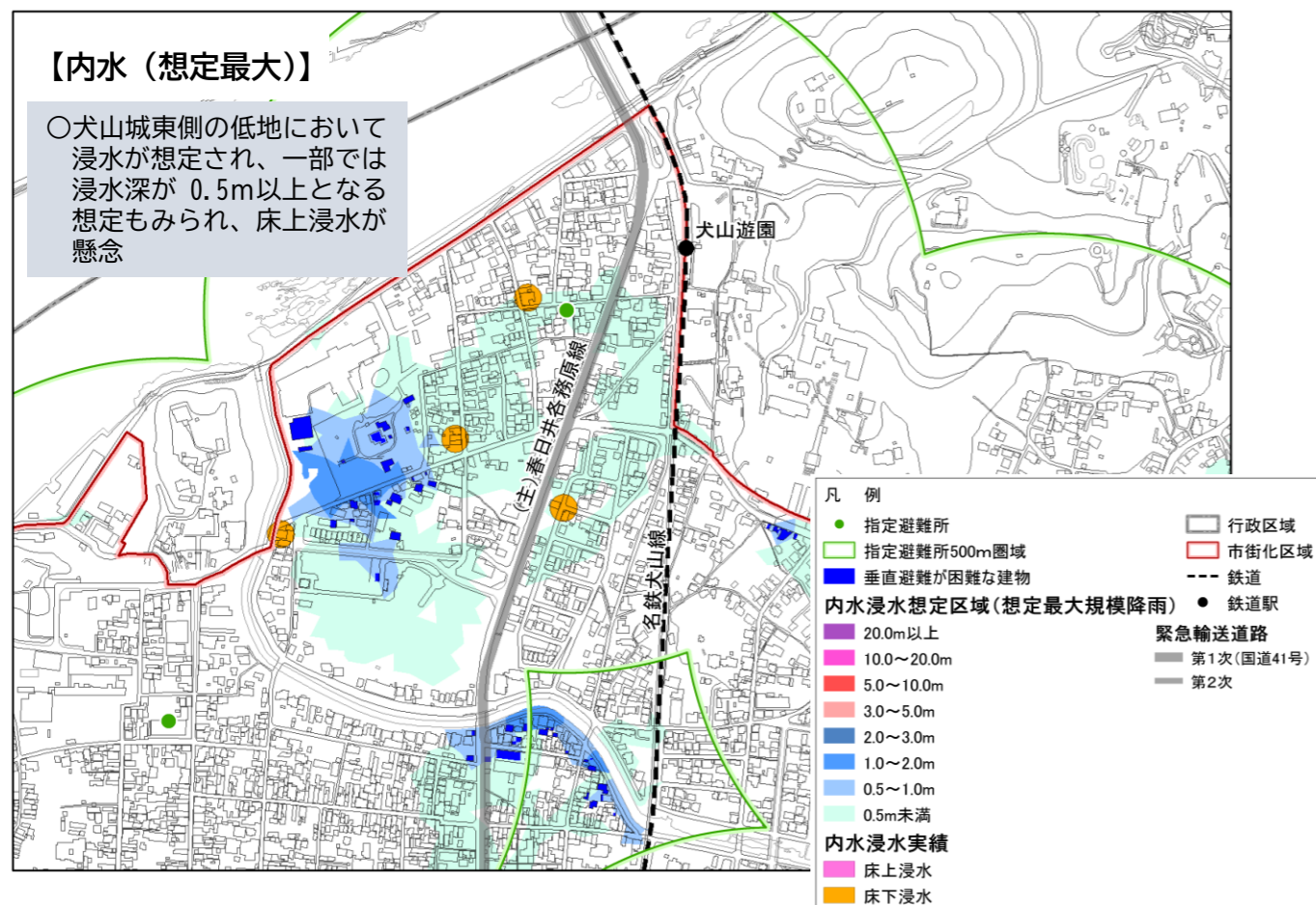
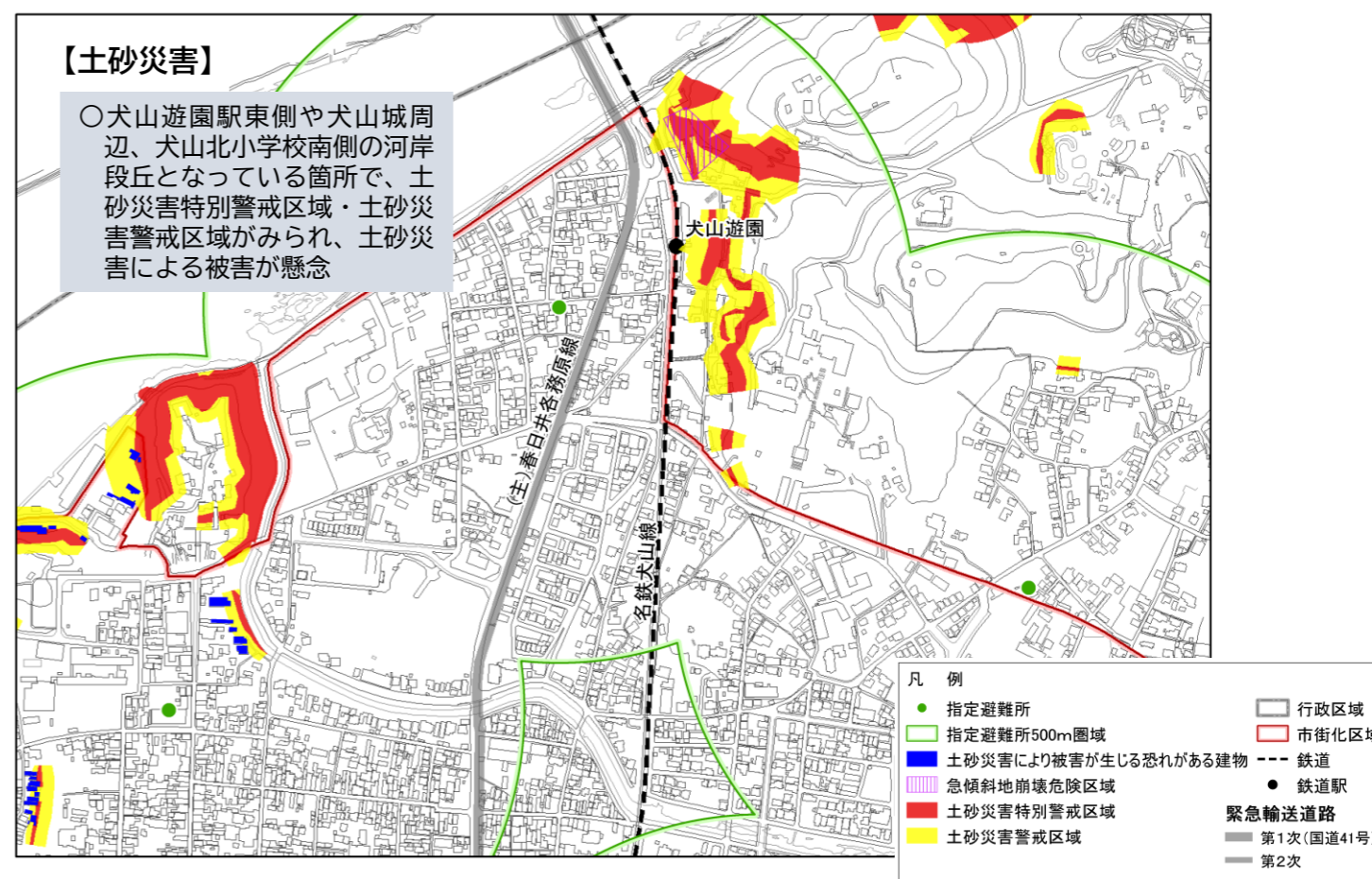
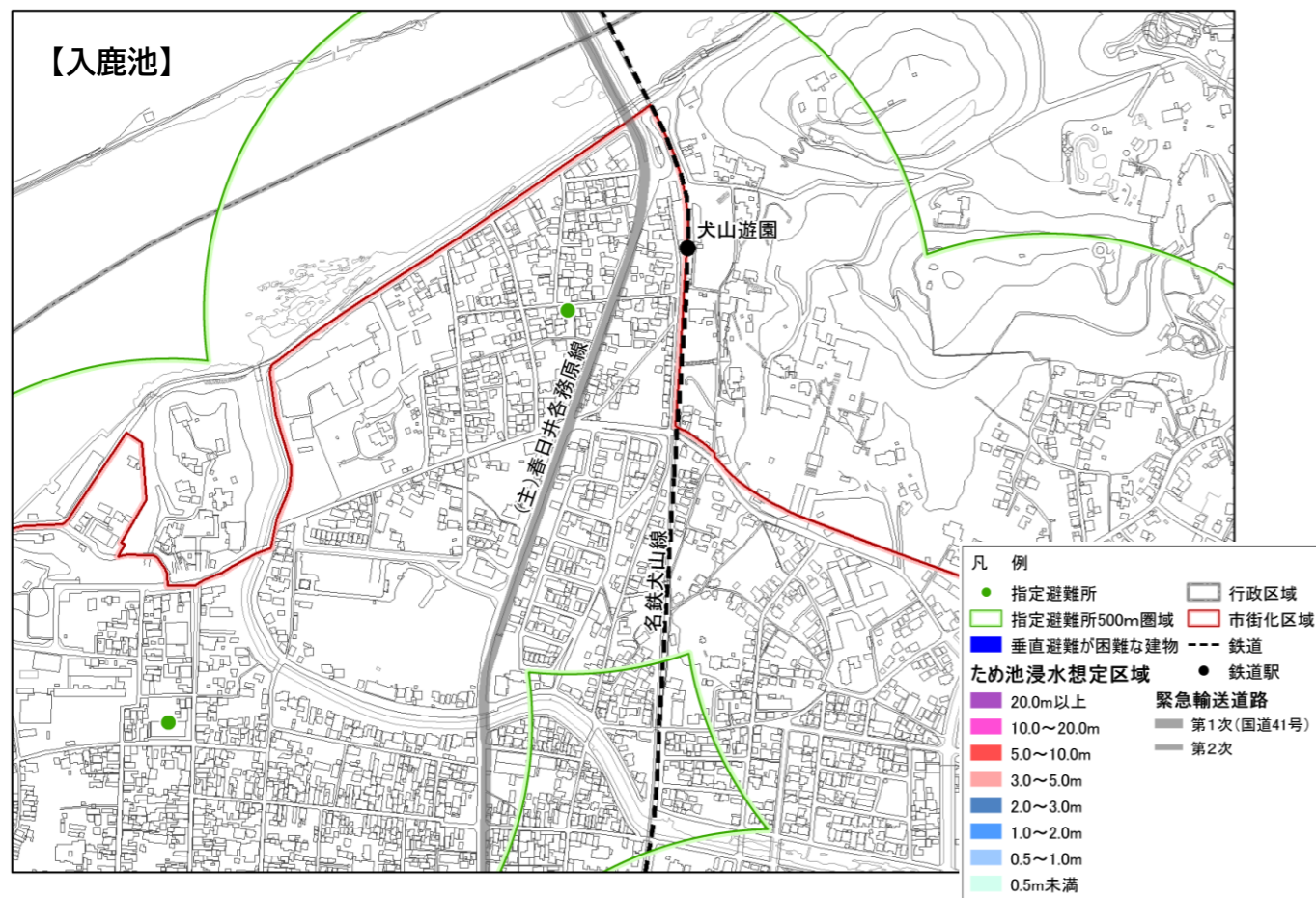
### 【内水(想定最大)】

○市街化区域内の一部で浸水が想定され、そのほとんどで浸水深が0.5m未満

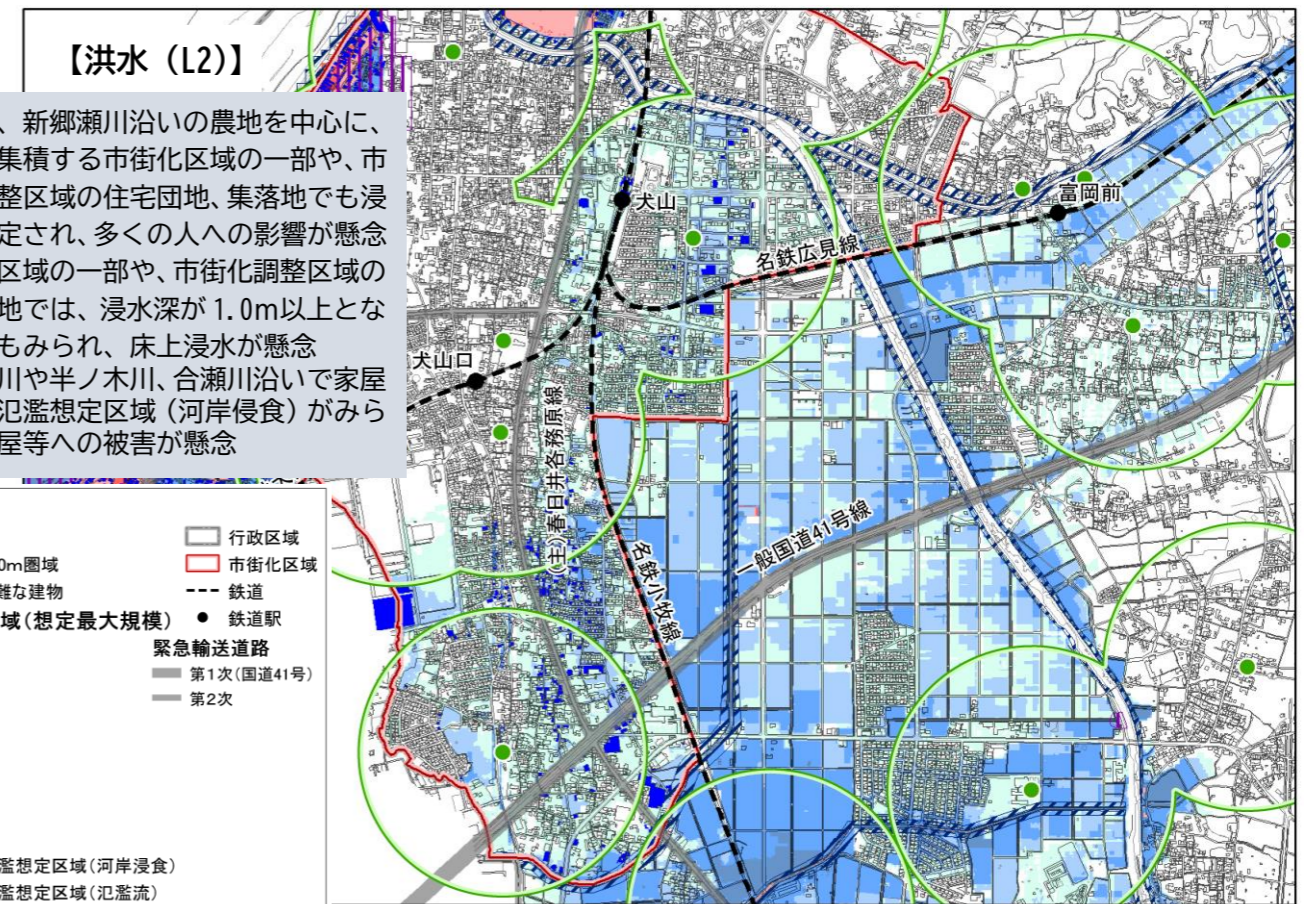
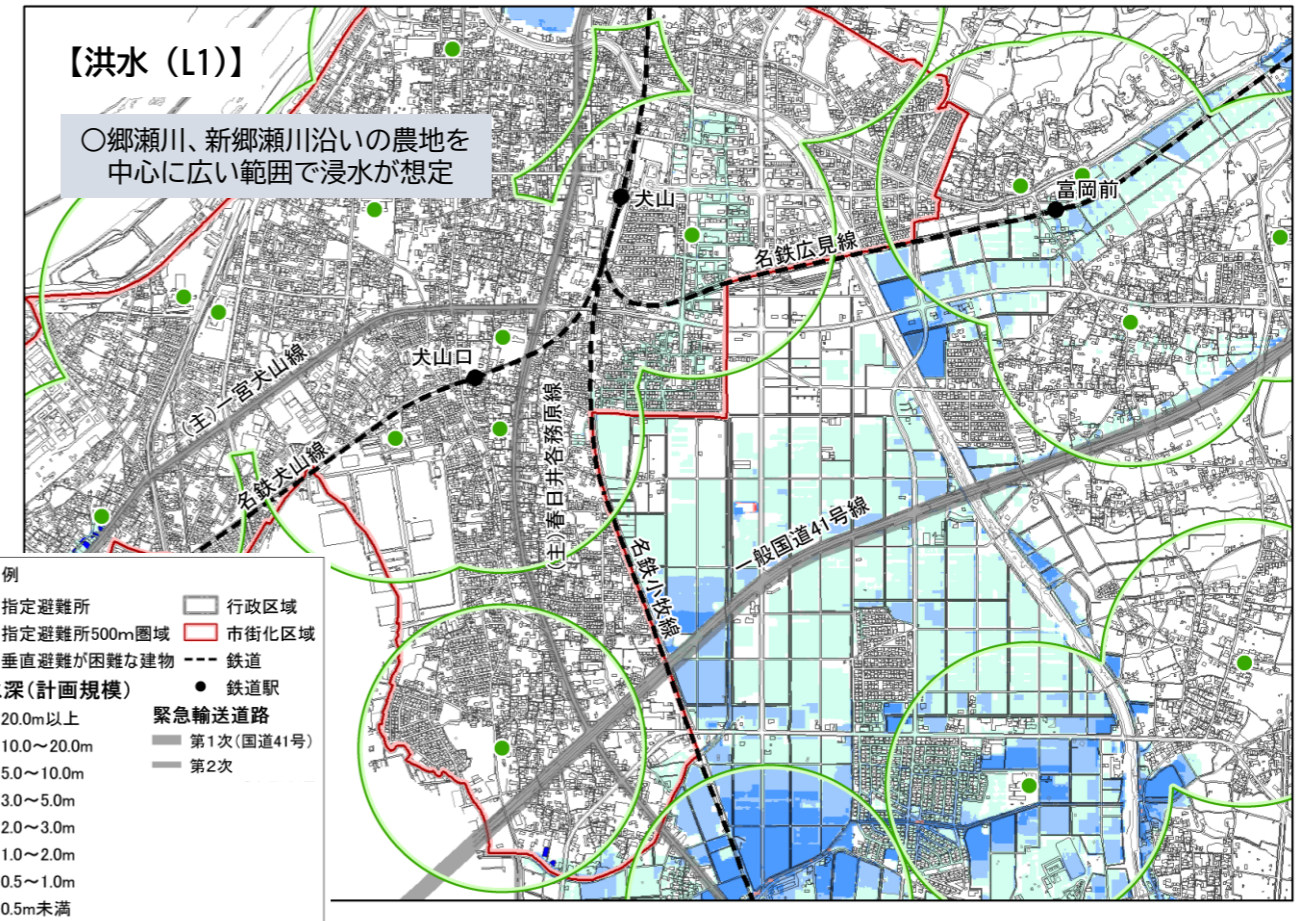
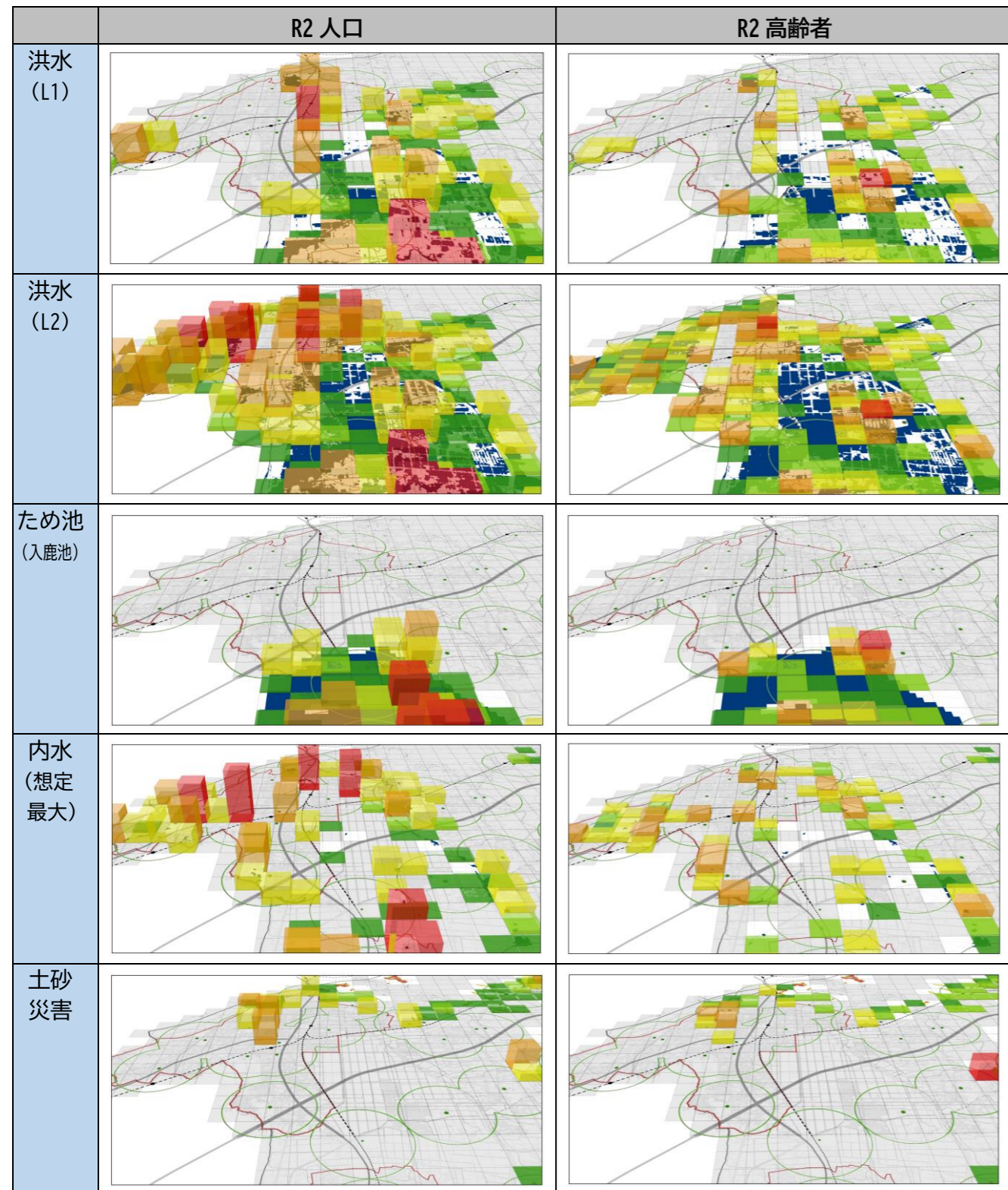


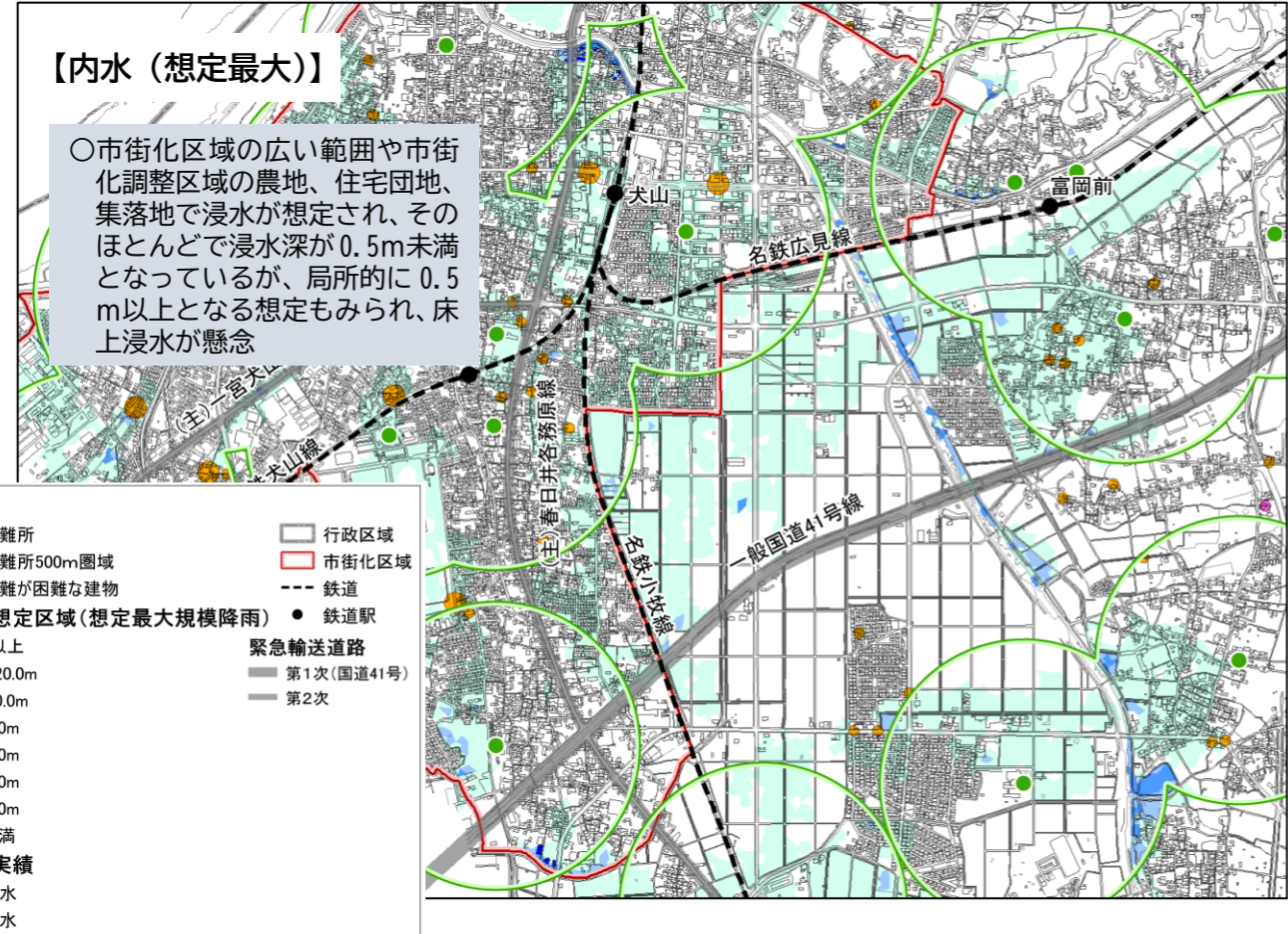
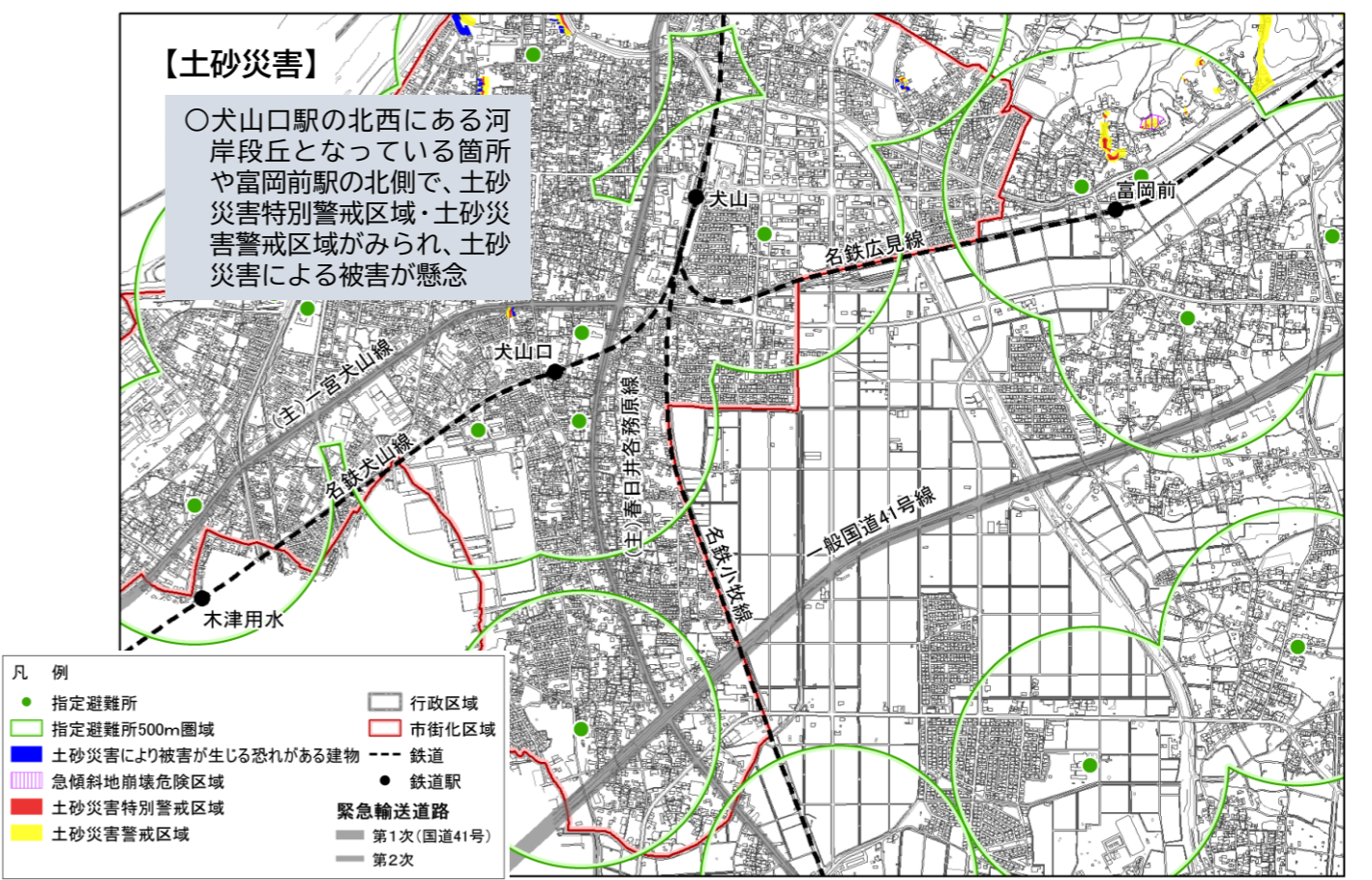
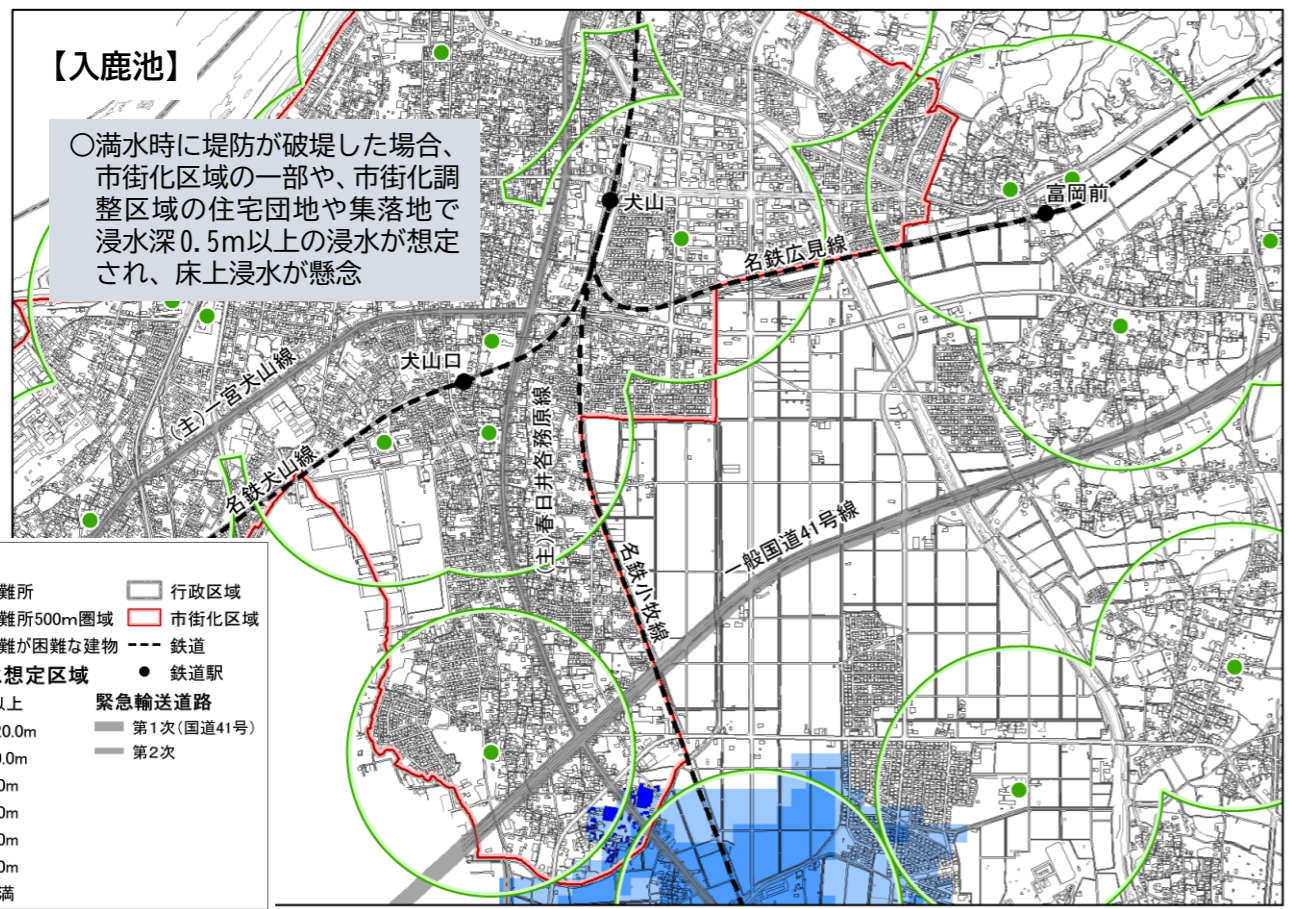
②犬山地区B





③犬山地区C





④羽黒地区

